ICOM

取扱説明書

IP ADVANCED RADIO SYSTEM

IP501M

はじめに

1 ご使用の前に

2 基本操作

3 応用操作

4 各種機能の設定（SETモード）

5 別売品とその使いかた

6 ご参考に

さくいん

この取扱説明書は、別売品のことも記載していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、音声通信やメッセージ通信ができるマルチキャリア対応のトランシーバーです。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本製品の概要について

◎ドコモ網(LTE/3G)、またはau網(LTE)を経由した呼び出し(個別/グループ/全体)やメッセージの送受信★1、ステータス情報(例：会議中)★1の送信ができます。
※端末側でどのグループに所属するかを選択できるトークグループにも対応しています。
◎2種類(単信/複信)の通信方式★2に対応しています。
◎IP54(防塵形と防まつ形)★3の性能に対応できるように設計されています。
◎本製品は、免許不要･資格不要です。
★1 送信できるメッセージやプレゼンスは、あらかじめ設定された内容です。
★2 単信は送信と受信を交互に切り替えて交信する方式、複信は同時に通話できる方式です。
★3 「IP表記について」(P.ii)をご覧ください。

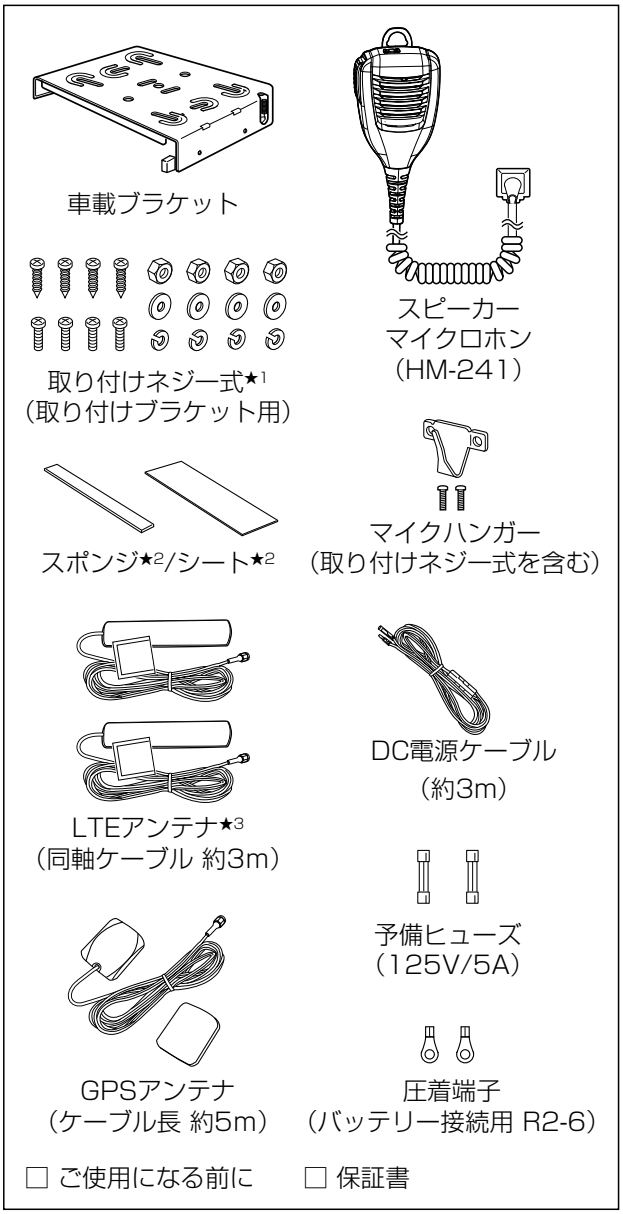
自動車運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。

登録商標/著作権について

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴ、ポケットビープは、アイコム株式会社の登録商標です。
Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

付属品について



★1 別売品のPS-230Aに本製品を固定するときにも使用します。
★2 車載ブラケットを使用して本製品を車内に固定するとき、必要に応じて取り付けます。
★3 LTEアンテナ付属のクリーナーで、貼り付ける場所のゴミや汚れをきれいに取り除いてください。

はじめに

防塵/防水性能について

マイクロホンを無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。
次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

◎雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
◎スピーカーマイクロホンが接続されていない、または正しく接続されていない
◎落としたりして、強い衝撃が加わったとき
◎本製品を分解、または改造したとき
◎蛇口から水や湯を直接当てたとき
◎水や海水につけたとき
◎－10℃～＋60℃以外の環境で使用したとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

スピーカーマイクロホン、またはテンキー付きマイクロホンを無線機本体に装着することで、IP54の防塵/防水性能があります。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。
IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。
また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X（防塵形）：試験用粉塵を1m^{3}あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること
IPX4（防まつ形）：いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと
IPX5（防噴流形）：注水ノズル（内径6.3mm）をすべての方向に使用して、3mの距離から、1分間1m^{2}あたり約12.5リットルの水を3分以上注水後、機器として正常に機能すること

日常のお手入れと点検について

◎清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
◎定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。
◎音量が最小に調整されていないか、確認してください。
◎ご使用になるときは、アンテナが確実に固定されていることを確認してください。

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

電波法についてのご注意

◎本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
◎本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。
本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。
したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。
また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用しないでください。

はじめに

医用電気機器近くでの取り扱いについて

植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

◎植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して使用してください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品を使用しないでください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

◎医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。

◎医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカー、および植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により機器の作動に影響を与える場合があります。

取扱説明書の内容について

本書に記載の操作や機能は、お買い上げの販売店であらかじめ設定をご依頼いただくことにより使用できる機能も含まれています。
一般的なご使用を想定した内容にしていますので、ご使用になる機能や操作について詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

取り扱い上のご注意

◎SIMカードの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

◎直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。
移動局として車内に設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。
また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。

◎車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。

◎磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。

◎パソコンやその他の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。

◎本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。

◎本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。

◎サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

◎本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ファームウェアの自動更新について

本製品は、自動的にファームウェアが更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。

※更新中は、本製品をご利用いただけませんのでご注意ください。(P.1-5)

はじめに

電波干渉についてのご注意

Bluetoothの通信では2.4GHz帯の電波を使用するため、次のことがらに注意してください。
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。

◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止(Bluetooth接続を切断)してください。

※Bluetooth接続の切断方法については、5-10ページをご覧ください。

◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社 サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ **携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、**
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備
「FH」 : FHSS方式
「1」 : 想定干渉距離が10m以下
「▬▬」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

はじめに

もくじ

はじめに …… i

本製品の概要について …… i
自動車運転時のご注意 …… i
登録商標/著作権について …… i
付属品について …… i
防塵/防水性能について …… ii
別売品の使用による防塵/防水性能について …… ii
IP表記について …… ii
日常のお手入れと点検について …… ii
情報処理装置等電波障害自主規制について …… ii
電波法についてのご注意 …… ii
医用電気機器近くでの取り扱いについて …… iii
取扱説明書の内容について …… iii
取り扱い上のご注意 …… iii
ファームウェアの自動更新について …… iii
電波干渉についてのご注意 …… iv
2.4GHz現品表示記号の意味について …… iv

1.ご使用の前に …… 1-1

1. 電源を入れる …… 1-2
2. 音量を調整する …… 1-3
3. 各部の名称 …… 1-3
4. ロック機能について …… 1-10

2.基本操作 …… 2-1

1. 交信のしかた …… 2-2
2. アドレス帳の使いかた …… 2-4
3. 履歴の使いかた …… 2-6

3.応用操作 …… 3-1

1. メッセージ送信のしかた …… 3-2
2. トークグループ呼び出しのしかた …… 3-8
3. その他の機能について …… 3-11
4. SIMカードの切り替えについて …… 3-14

4.各種機能の設定(SETモード) …… 4-1

1. 設定項目一覧 …… 4-2
2. SETモード(基本)に移行するには …… 4-6
3. SETモード(詳細)に移行するには …… 4-6
4. SETモードで設定を変更するには …… 4-7

5.別売品とその使いかた …… 5-1

1. 別売品一覧 …… 5-2
2. AM-5(アーム型マイクロホン) …… 5-3
3. SM-28(デスクトップマイクロホン) …… 5-3
4. Bluetooth®の使いかた …… 5-4

6.ご参考に …… 6-1

1. 困ったときは …… 6-2
2. ヒューズの交換について …… 6-3
3. アフターサービスについて …… 6-3
4. 定格について …… 6-4

ご使用の前に

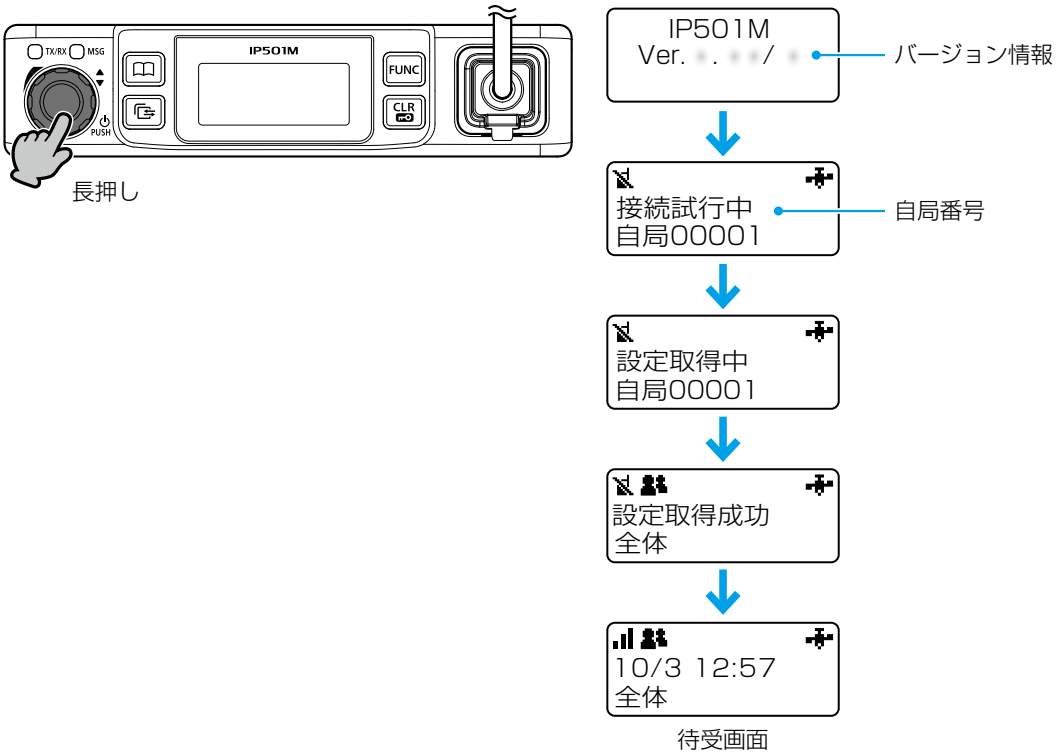
第 1 章

1. 電源を入れる …… 1-2
2. 音量を調整する …… 1-3
3. 各部の名称 …… 1-3
■ 無線機本体(前面部) …… 1-3
■ スピーカーマイクロホン(HM-241) …… 1-3
■ テンキー付きマイクロホン(HM-230) …… 1-4
■ 無線機本体(後面部) …… 1-4
■ 表示部のアイコンについて …… 1-5
■ 無線機本体の操作キーについて …… 1-6
■ HM-230の操作キーについて …… 1-7
■ HM-230のオプションキーについて …… 1-8
■ HM-230のテンキーについて …… 1-9
4. ロック機能について …… 1-10

初期値について
お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。
初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1. 電源を入れる

本製品を取り付けた車のエンジンをかける、またはツマミを長く(約1秒)押します。
※待受画面が表示されるまでお待ちください。
※サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合は点滅(圏外)、IP無線コントローラーに接続していない場合は点灯(未レジスト)が待受画面に表示されます。



シャットダウン処理について

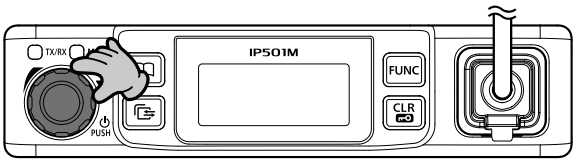
本製品は動作中、常時ドコモ網(LTE/3G)、またはau網(LTE)に接続されているため、電源を切るためにはシャットダウン処理が必要です。
※ シャットダウン処理をせずに本製品の電源を切る★と、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。
★ 本製品の電源が入っている状態で、付属のDC電源ケーブルがはずれる、または卓上電源装置の電源を切ることを指します。

待受画面が表示されないときは

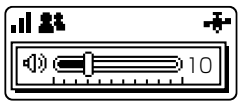
電源を入れたあと、接続試行中のままで、待受画面が表示されないときは、電源を入れなおす、または場所を移動すると、改善することがあります。
※ ずっと繋がらない場合(特定の場所で、一度も繋がったことがない場合)は、サービスエリア外(電波が届いていない地域)であることが原因と考えられます。

2. 音量を調整する

ツマミを回すと、音量が調整できます。
相手の音声が聞きやすい音量に調整してください。
調整できる範囲は、「0～32」です。
※音量が最小のときは、操作音や受信した音声が聞こえません。



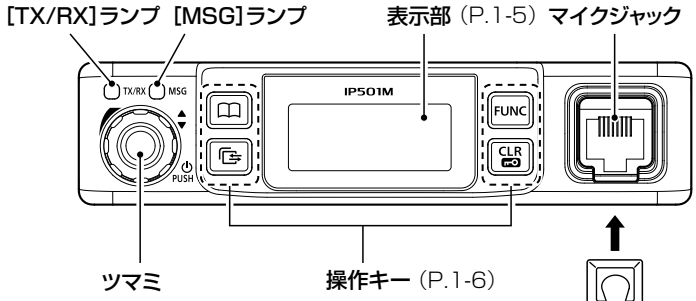
回す



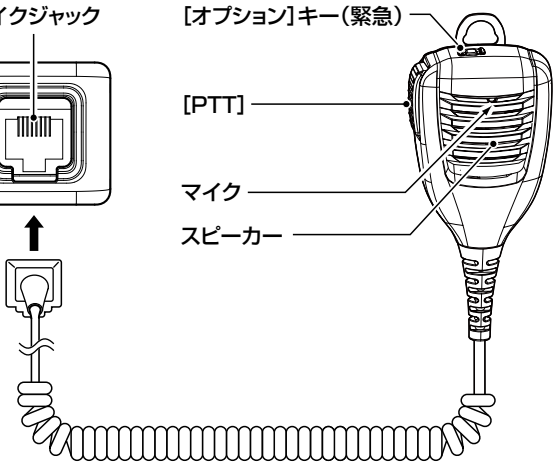
待受画面

3. 各部の名称

■無線機本体（前面部）



■スピーカーマイクロホン（HM-241）



ツマミの操作について

長押し	―	電源ON/OFF
回す	待受画面	音量調整
	各種画面	アドレス帳や履歴画面内などのカーソル移動

ランプの状態と動作について

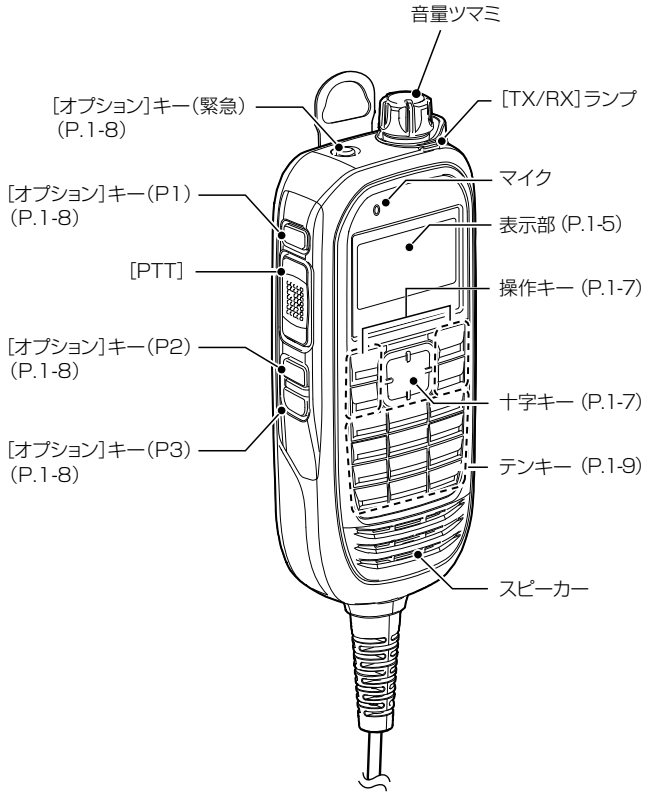
TX/RX	赤色	送信中
	橙色	送受信状態（同時通話時）
	緑色	受信中
	消灯	待受状態

※［MSG］ランプは、将来的な機能拡張用です。

ご注意
◎マイクロホンを接続するときは、「カチッ」と鳴るまで差し込んでください。
◎誤動作の原因になりますので、無線機の電源を入れたままマイクロホンを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。
◎故障の原因になりますので、前面部のマイクジャックにLANケーブルを接続しないでください。

3. 各部の名称

■テンキー付きマイクロホン(HM-230)



音量ツマミの操作について

音量ツマミを回すと、音量を調整できます。

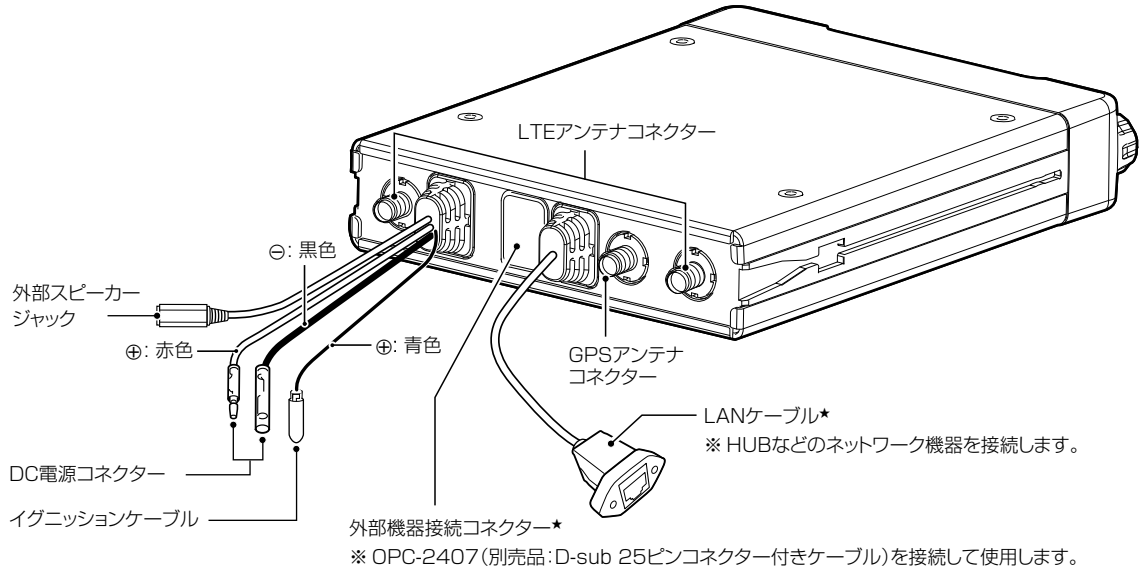
※ アドレス帳や履歴画面内などのカーソル移動をするときは、HM-230の十字キーを操作してください。

※ 音量ツマミの操作中は、操作音が雑音として相手に伝わらないように、自動で送信する音声をミュートします。

ランプの状態と動作について

TX/RX	赤色	送信中
	橙色	送受信状態(同時通話時)
	緑色	受信中
	消灯	待受状態

■無線機本体(後面部)

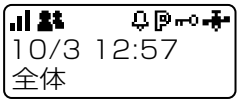


★ 詳しくは、別紙の取付ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

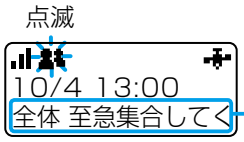
3. 各部の名称

■表示部のアイコンについて

★お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。



待受画面



メッセージ受信時

メッセージ内容がスクロール表示されます。

電波状態表示

電波の強度が3段階(目安)で表示されます。

※通信モードが3Gの場合は3Gと電波の強度(3G)、LTEの場合は電波の強度だけが表示されます。

※サービスエリア外(電波の届かない地域)の場合は点滅(圏外)、IP無線コントローラーに接続していない場合は点灯(未レジスト)が表示されます。

呼び出しモード表示

：全体/グループ呼び出し

：トークグループ呼び出し★(P.3-8)

：個別呼び出し

：電話★

※呼び出しやメッセージを受信したとき、電話から着信したときは、アイコンが点滅します。

ポケットビープ機能表示(P.3-11)

Pベル機能表示(P.3-11)

ロック機能表示(P.1-10)

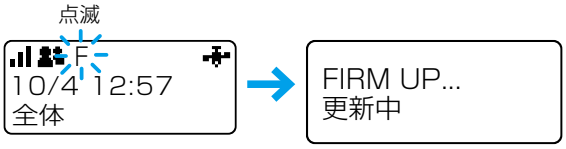
GPS表示

点滅 ： GPS測位中
(GPS情報が通知できていない状態)

点灯 ： GPS測位完了
(GPS情報が通知できている状態)

「F」が表示されたときは

本製品の表示部で「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。



◎更新中の画面が表示され、自動的に再起動するまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

◎「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。

3. 各部の名称

■無線機本体の操作キーについて

★1 お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。
★2 トークグループは[アドレス帳]キー、または[FUNC]キーのどちらかでしか選択できません。
トークグループの詳しい操作については3-9ページ、3-10ページをご覧ください。

[アドレス帳]キー★1

アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。
キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ★2)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。

個別
00001
個別00001

アドレス帳：個別

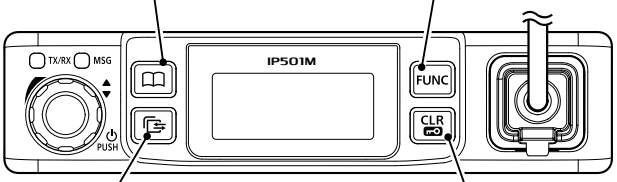
[FUNC]キー★1

FUNC

送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループ★2を選択するときに操作します。

メッセージ
個別00005
集合してください

メッセージ選択画面



[履歴]キー★1

短押し
キーを短く押すごとに、履歴が切り替わります。
※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信、メッセージ受信、電話発信、電話着信です。

長押し
迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しするときに操作します。
※「緊急」と表示されるまで、キーを長く押します。(P.3-12)

受信履歴
10/2 11:47
営業8

受信履歴

[CLR/LOCK]キー

CLR

短押し
メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。

長押し
ロック機能をON/OFFします。
※[PTT]とツマミは、ロック中でも使用できます。

10/4 12:57
全体

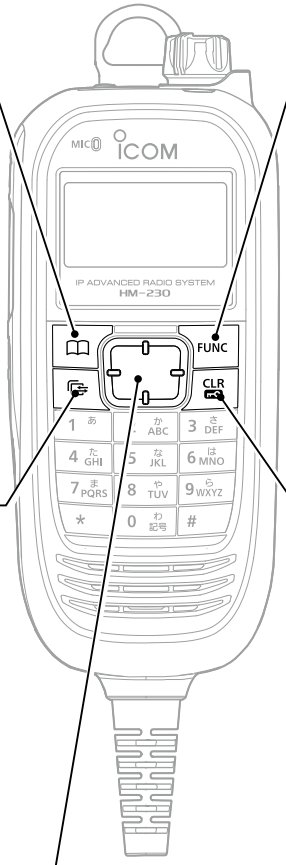
キーロック時の待受画面

※本書中の画面は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。
※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

3. 各部の名称

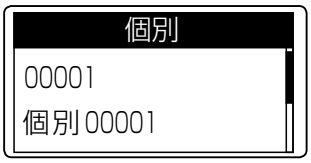
■HM-230の操作キーについて

★1 お買い上げの販売店で設定されている場合に使用できます。
★2 トークグループは[アドレス帳]キー、または[FUNC]キーのどちらかでしか選択できません。
トークグループの詳しい操作については3-9ページ、3-10ページをご覧ください。



[アドレス帳]キー★1

アドレス帳を利用して、送信するときに操作します。
キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ★2)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。



アドレス帳：個別

[履歴]キー★1

短押し
キーを短く押すごとに、履歴が切り替わります。
※表示される履歴は、送信、受信、メッセージ送信、メッセージ受信、電話発信、電話着信です。

長押し
迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しするときに操作します。
※「緊急」と表示されるまで、キーを長く押します。(P.3-12)

十字キー(上下左右)

アドレス帳や履歴画面内などのスクロールや文字入力時のカーソル移動で使用します。

[FUNC]キー★1

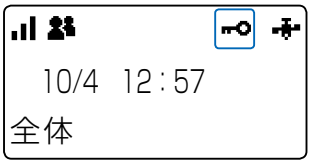
◎送信するメッセージやプレゼンス、所属するトークグループ★2を選択するときに操作します。
◎文字入力時、キーを押すごとに、入力モードが切り替わります。

メッセージ選択画面

[CLR/LOCK]キー

短押し
◎メッセージや履歴などの選択画面から、待受画面に戻ります。
◎文字入力時、1文字消去します。

長押し
◎ロック機能をON/OFFします。
※[PTT]とツマミは、ロック中でも使用できます。
◎文字入力時、すべて消去します。

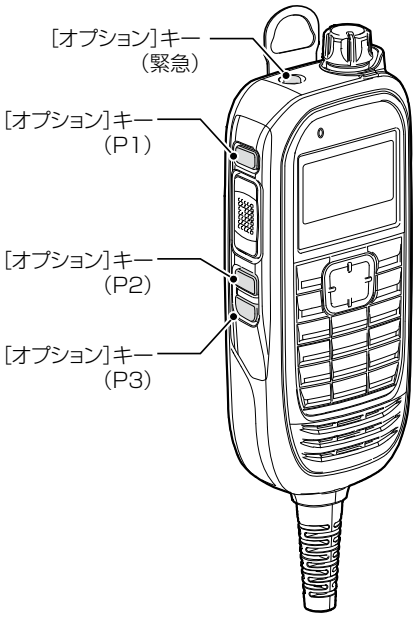


キーロック時の待受画面

3. 各部の名称

■HM-230のオプションキーについて

よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するとき、または電話を切るときなどに使用するキーです。
※お買い上げの販売店で、[オプション]キー(P1～P3、緊急)に機能が設定されている場合に使用できます。



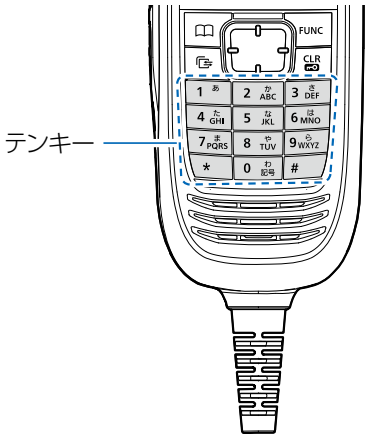
割り当てられる機能

メッセージ	[オプション]キーを押して、よく使うメッセージを選択したいとき
メッセージ作成	任意のメッセージを作成して送信したいとき ※[オプション]キーを押すと、メッセージ作成画面が表示されます。
ワンタッチ	[オプション]キーを押して、特定の呼出種別、または相手を選択したいとき
電話切断	[オプション]キーを押して、IP501M側から電話を切りたいとき ※電話と通話する場合は、VE-PG4などが別途必要になります。 ※相手が応答する前、または通話中に[オプション]キーを押すと、IP501M側から電話を切れます。 ※IP501M側から電話を切れるのは、電話機からIP501Mを個別に呼び出したとき、またはIP501Mから電話機を呼び出したときだけです。
受信音声ミュート	受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいとき ※[オプション]キーを長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。 ※[PTT]を押しても、ミュート機能を解除できます。
テンキー呼出	テンキーを操作して、相手の呼出先番号を入力するとき ※[オプション]キーを押すごとに、呼出種別が切り替わります。
エマージェンシー	迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいとき ※「緊急」と表示されるまで、[オプション]キーを長く押します。 ※下記の場合に、緊急呼び出しが解除されます。 ◎相手から応答があったとき ◎「緊急」の表示が消えるまで[オプション]キーを長く押したとき ◎本製品の電源を切ったとき ◎あらかじめ設定されている自動解除時間が経過したとき
ホーン(外部I/O)	ホーン機能のON/OFFを切り替えたいとき ※ホーン機能がONの場合、呼び出しを受信するとD-sub 25ピンコネクターの「ホーン」端子がアクティブになります。 ※D-sub 25ピンコネクターにブザーなどの外部機器を接続してください。
アドレス帳選択モード(外部I/O)	外部機器からのアドレス帳選択機能のON/OFFを切り替えたいとき ※外部機器からのアドレス帳選択機能がONの場合、外部機器を使用して呼出種別や相手先番号を選択できます。 ※D-sub 25ピンコネクターに外部機器を接続してください。

3. 各部の名称

■HM-230のテンキーについて

任意のメッセージ作成やアドレス帳を検索するときなどに使用するキーです。
※お買い上げの販売店で、テンキーに機能が設定されている場合に使用できます。
※ひらがな、カタカナ、記号、数字、英字が入力できます。（ひらがなは、メッセージ作成時のみ）
※1つのキーに複数の文字が割り当てられていますので、キーを繰り返し押して、目的の文字を表示します。
※濁点、半濁点の入力は、文字を入力したあとに「0」を数回押します。



割り当てられる機能

メッセージ作成	テンキーを操作して、任意のメッセージを作成して送信したいとき
テンキー呼出	テンキーを操作して、相手の呼出先番号を入力するとき ※アドレス帳に登録していない相手も呼び出せます。
アドレス帳検索	アドレス帳のヨミガナで相手を検索したいとき ※［アドレス帳］キーを押して、アドレス帳の検索画面が表示されたとき、テンキーを操作します。
電話帳選択	アドレス帳の登録番号で相手を選択したいとき ※登録番号を入力するとき、最後の桁を長く（約1秒）押すと、呼出先が確定します。
ワンタッチ	テンキーを長く（約1秒）押して、特定の呼出種別、または相手を選択したいとき

入力モード／キー	ひらがな かな	カタカナ カナ	英字 ABC	数字 123
1 あ	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	―	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0 わ 記号	わをんー＿、。	ワヲンー＿、。	-_,.!?	0
*	＊（全角）	＊（全角）	＊（半角）	＊（半角）
#	＃（全角）	＃（全角）	#（半角）	#（半角）

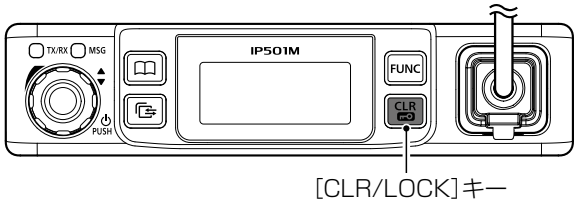
※本書中の画面は、設定によって、お使いになるものと多少異なる場合があります。
※本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

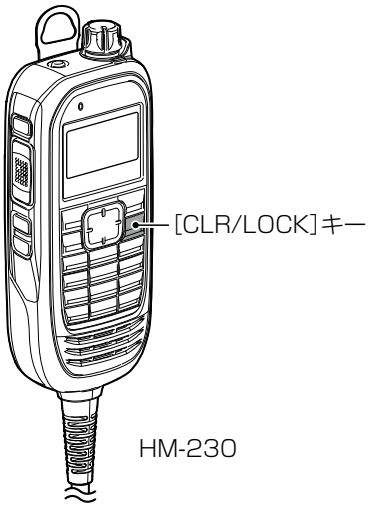
4. ロック機能について

不用意に本製品のキーやスイッチに触れても、設定や表示が変わらないようにします。

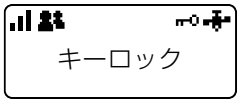
[CLR/LOCK]キーを長く(約1秒)押します。

- 「ピピッ」と鳴って、「🔑」が点灯します。
  ※同じ操作をすると、ロックを解除できます。
  ※[PTT]とツマミは、ロック中でも使用できます。
  ※ロック中でも緊急呼び出し(P.3-12)を操作できます。





キーロック時の待受画面



キー操作時

基本操作

第 2 章

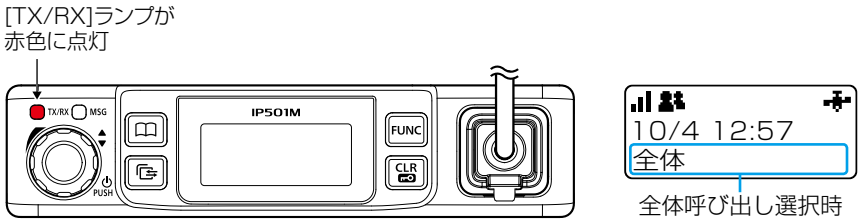
この章では、
本製品を無線機として利用するための基本操作を説明しています。

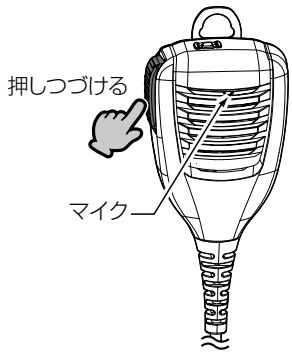
1. 交信のしかた …… 2-2
2. アドレス帳の使いかた …… 2-4
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-241接続時) …… 2-4
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-230接続時) …… 2-5
3. 履歴の使いかた …… 2-6
■ 履歴から通話相手を選択する(HM-241接続時) …… 2-6
■ 履歴から通話相手を選択する(HM-230接続時) …… 2-7
■ 履歴を消去するときは(HM-241接続時) …… 2-8
■ 履歴を消去するときは(HM-230接続時) …… 2-9

1. 交信のしかた

※本製品にHM-241を接続した場合を例に説明しています。
HM-230でも同様に操作できます。

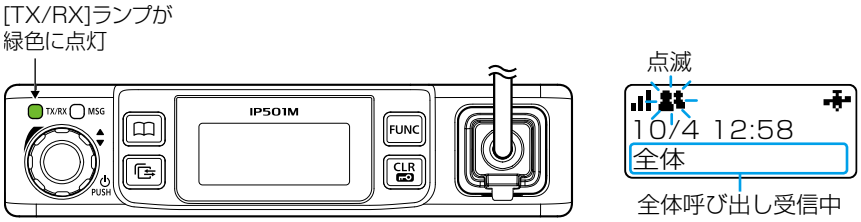
1. [PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。
   - [PTT]を押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色に点灯します。

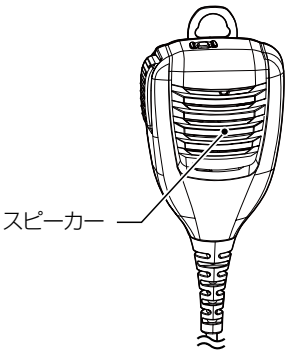




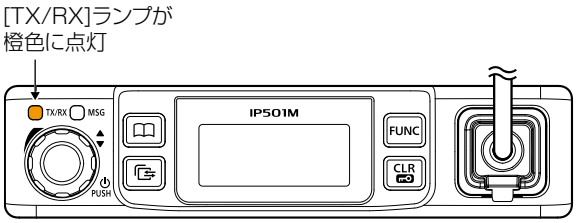
2. 相手局が送信すると、受信した音声が聞こえます。
   - 受信中は、[TX/RX]ランプが緑色に点灯します。

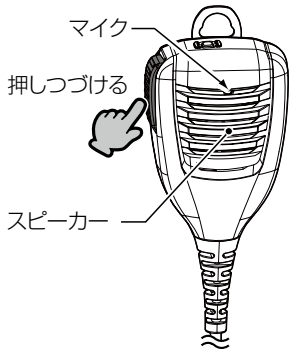
   ※アイコン点滅時は、新規受信(着信)を示します。(下図参照)
   ※待ち受け状態のときは、[TX/RX]ランプが消灯しています。





3. 相手が送信しているときでも、[PTT]を押しながら、同時に通話できます。
   - 送受信状態(複信通信時)のときは、[TX/RX]ランプが橙色に点灯します。

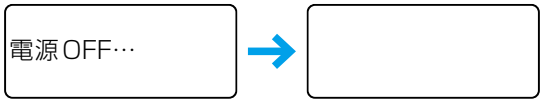




1. 交信のしかた

交互通話(単信通話)の場合
お買い上げの販売店で単信通信が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。
※相手の通話が終了してから、送信してください。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。

電源を切るときは
本製品を取り付けた車のエンジンを切る、またはツマミを長く(約1秒)押します。
※「電源OFF…」の表示が消えるまでお待ちください。



※ 卓上電源装置(別売品：PS-230A)をご使用になる場合、電源を切るときは、本製品の電源が切れたことを確認してから、卓上電源装置の電源を切ってください。
本製品の電源が入った状態で卓上電源装置の電源を切ると、通信回線や基地局の障害、本製品の故障などの原因になります。

マイクの使いかた
マイクと口元を約5cmはなし、普通の大きさの声で通話してください。
マイクに口を近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

連続送信について
[PTT]が押しつづけられる場合など、不用意な送信を防止するために、タイマーが設定されています。
連続送信が5分を超えると、自動的に送信を停止しますので、通話を再開するには再度[PTT]を押してください。

操作時の確認音について
お買い上げの販売店、または本製品のSETモード(P.4-3)やCS-IP501M(P.5-2)で設定されている場合、キーを押したり、ツマミを回したりしたときに確認音が鳴ります。

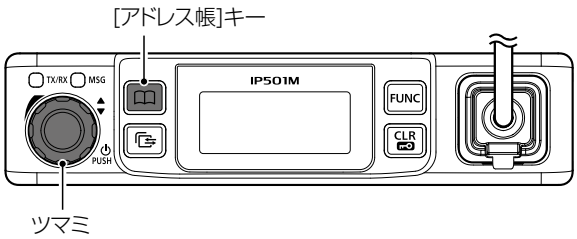
バックライトについて
お買い上げの販売店、または本製品のSETモード(P.4-3)やCS-IP501M(P.5-2)の設定により、バックライトは下記のように動作します。
◎常時消灯　：バックライトが点灯しません。
◎常時減光　：明るさを抑えた状態でバックライトが常に点灯します。
◎点灯(外部端子で減光)：バックライトが常に点灯します。
D-sub 25ピンコネクターの「ディマー」端子がアクティブのあいだ、バックライトの明るさを抑えます。
◎操作時点灯　：新規着信時、または[PTT]以外を操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。(音量操作時を除く)
◎常時点灯　：常にバックライトが点灯します。

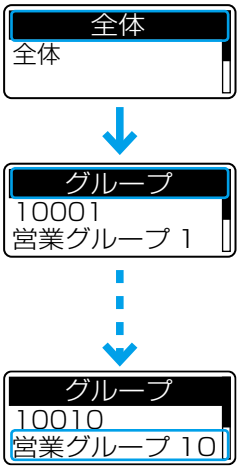
2. アドレス帳の使いかた

■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-241接続時)

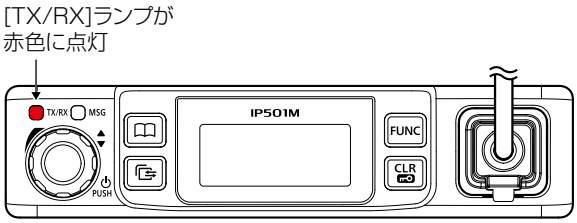
※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、アドレス帳が設定されている場合に使用できます。

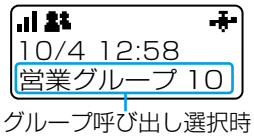
1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例:グループ)を選択します。
   - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. ツマミを回して、相手先(例:営業グループ10)を選択します。

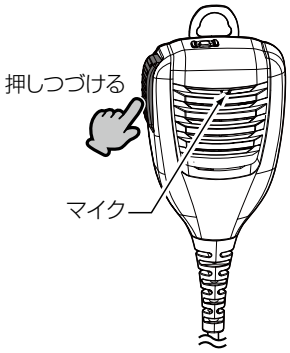




3. [PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。
   - [PTT]を押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色に点灯します。







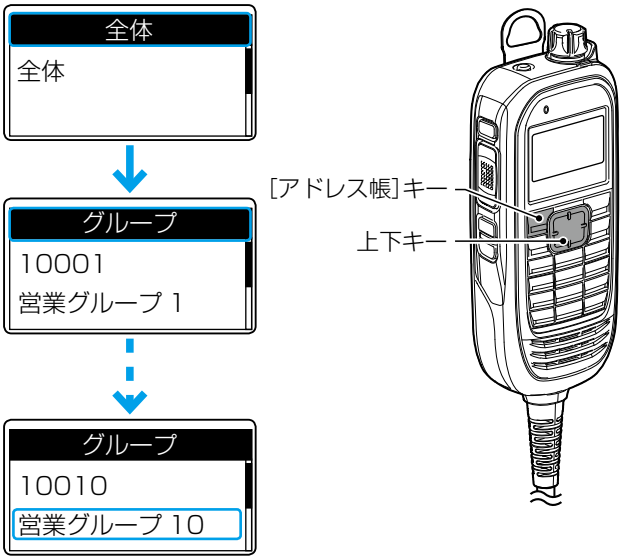
全体/グループ呼び出しの場合
全体やグループ呼び出しの対象となる相手先の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

2. アドレス帳の使いかた

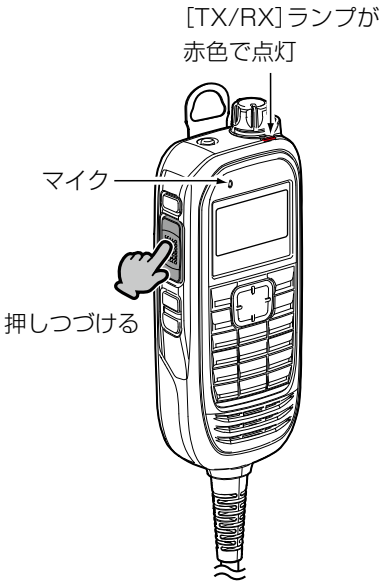
■ アドレス帳から相手先を選択する(HM-230接続時)

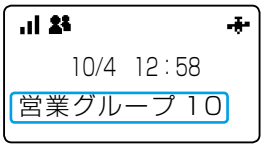
※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、アドレス帳が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例:グループ)を選択します。
   - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. 上下キーを押して、相手先(例:営業グループ10)を選択します。



3. [PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。
   - [PTT]を押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。





グループ呼び出し選択時

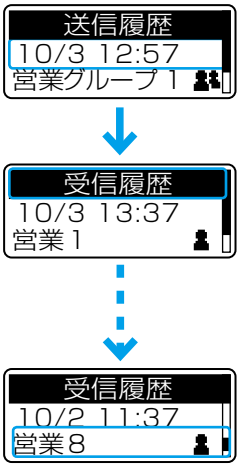
全体/グループ呼び出しの場合
全体やグループ呼び出しの対象となる相手先の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

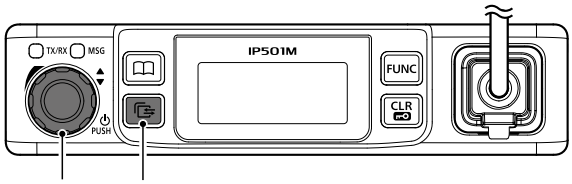
3. 履歴の使いかた

■ 履歴から通話相手を選択する(HM-241接続時)

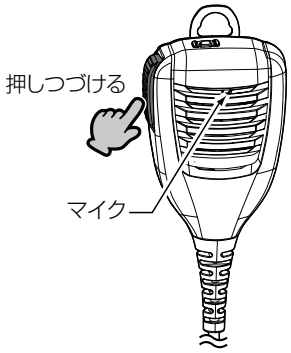
※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

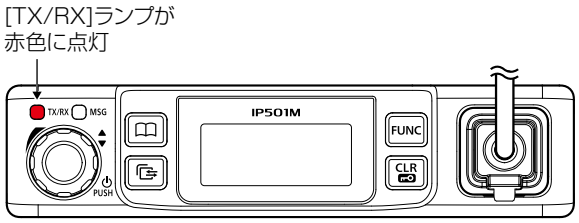
1. [履歴]キーを押して、履歴(例：受信履歴)を選択します。
   - キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。
2. ツマミを回して、相手先(例：営業8)を選択します。

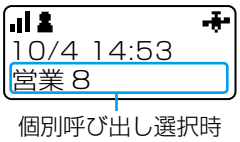




3. [PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。
   - [PTT]を押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。







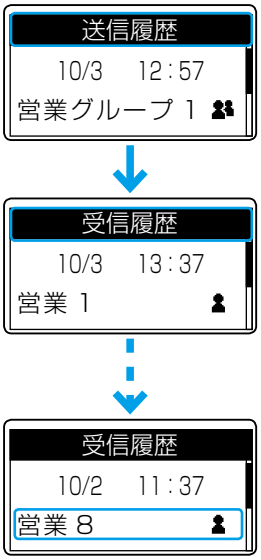
履歴について
各履歴は10件まで記憶され、10件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。

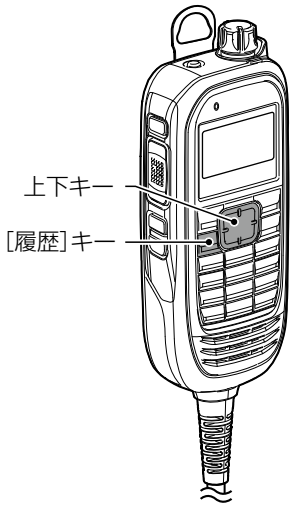
3. 履歴の使いかた

■ 履歴から通話相手を選択する(HM-230接続時)

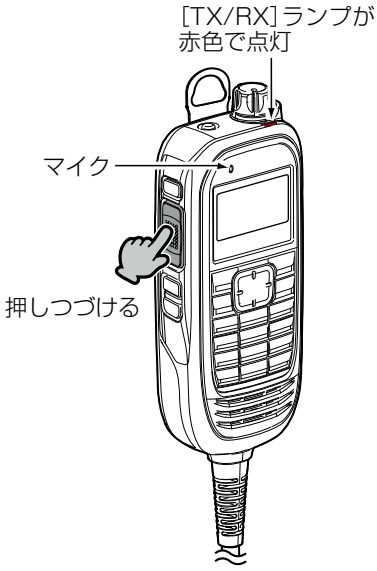
※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

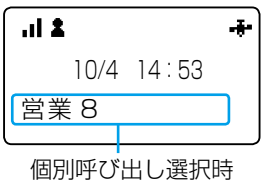
1. [履歴]キーを押して、履歴(例：受信履歴)を選択します。
   - キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。
2. 上下キーを押して、相手先(例：営業8)を選択します。





3. [PTT]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。
   - [PTT]を押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色で点灯します。





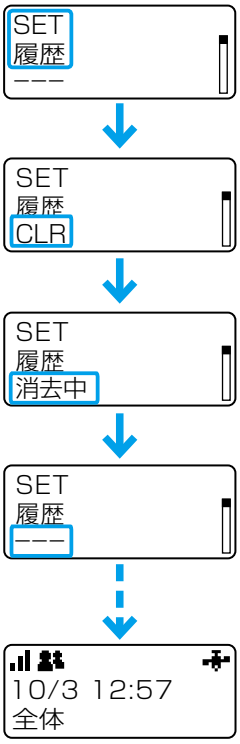
履歴について
各履歴は10件まで記憶され、10件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。

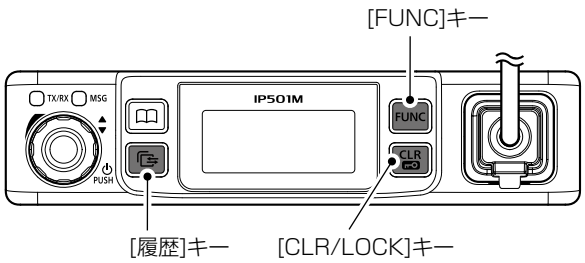
3. 履歴の使いかた

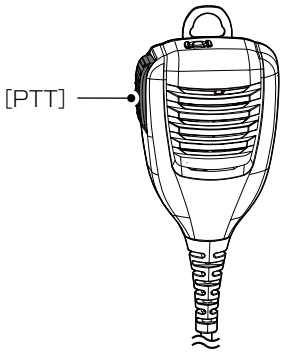
■ 履歴を消去するときは(HM-241接続時)

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約5秒)押します。
2. 「SET 履歴」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. ツマミを回して「CLR」を選択し、[履歴]キーを押します。
   - 「消去中」が表示されたあと、「−−−」表示に戻ると、履歴消去が完了です。

   ※すべての履歴が消去されます。
4. SETモードを解除するときは、[CLR/LOCK]キー、または[PTT]を押します。
   - 待受画面に戻ります。





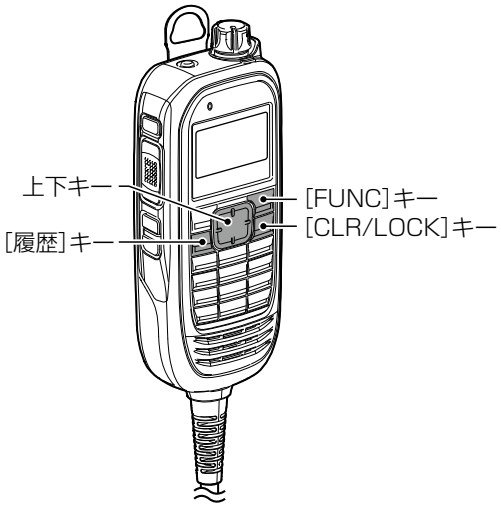


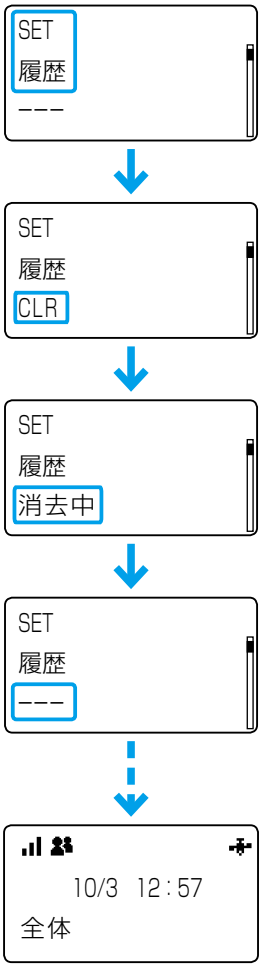
3. 履歴の使いかた

■ 履歴を消去するときは(HM-230接続時)

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約5秒)押します。
2. 「SET 履歴」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. 上下キーを押して「CLR」を選択し、[履歴]キーを押します。
   - 「消去中」が表示されたあと、「−−−」表示に戻ると、履歴消去が完了です。

   ※すべての履歴が消去されます。
4. SETモードを解除するときは、[CLR/LOCK]キー、または[PTT]を押します。
   - 待受画面に戻ります。





応用操作

第 3 章

この章では、
メッセージなど、より便利に利用するための操作方法を説明しています。

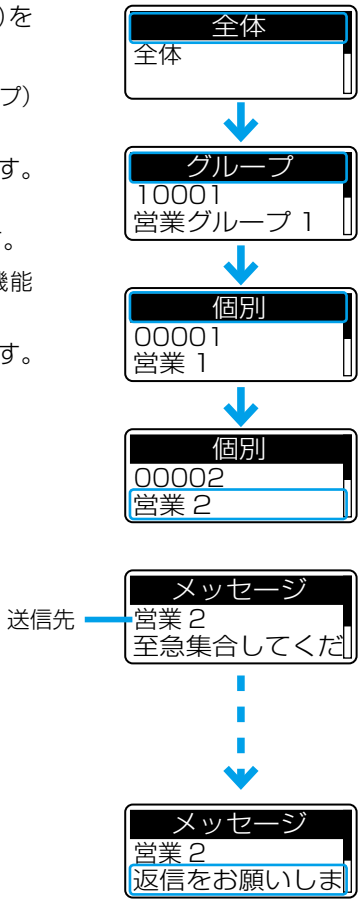
1. メッセージ送信のしかた …… 3-2
■ メッセージを送信する(HM-241接続時) …… 3-2
■ メッセージを送信する(HM-230接続時) …… 3-3
■ メッセージを作成して送信する(HM-230接続時) …… 3-4
■ 受信したメッセージを確認する(HM-241接続時) …… 3-5
■ プレゼンスを送信する(HM-241接続時) …… 3-5
■ 受信したメッセージを確認する(HM-230接続時) …… 3-6
■ プレゼンスを送信する(HM-230接続時) …… 3-6
■ アドレス帳を検索する(HM-230接続時) …… 3-7
2. トークグループ呼び出しのしかた …… 3-8
■ トークグループ呼び出しについて …… 3-8
■ トークグループを[FUNC]キーで選択するときは(HM-241接続時) …… 3-9
■ トークグループを[アドレス帳]キーで選択するときは(HM-241接続時) …… 3-9
■ トークグループを[FUNC]キーで選択するときは(HM-230接続時) …… 3-10
■ トークグループを[アドレス帳]キーで選択するときは(HM-230接続時) …… 3-10
3. その他の機能について …… 3-11
■ ポケットビープ機能について …… 3-11
■ Pベル機能について …… 3-11
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)について …… 3-12
■ Lone Worker機能について …… 3-13
4. SIMカードの切り替えについて …… 3-14
■ 使用するSIMカードをSETモードで切り替えるときは …… 3-14
■ 使用するSIMカードを[FUNC]キーで切り替えるときは …… 3-15

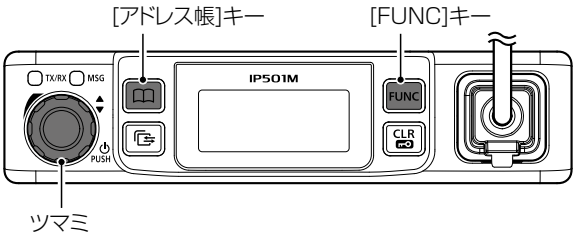
1. メッセージ送信のしかた

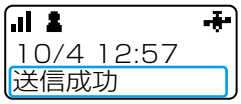
■メッセージを送信する(HM-241接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、送信するメッセージが登録され、メッセージ機能が有効に設定されている場合に使用できます。

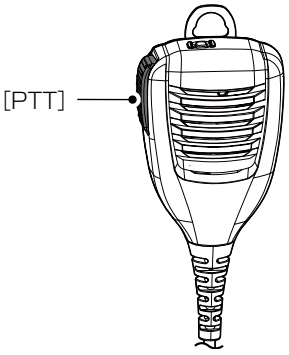
1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例：個別)を選択します。
   - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. ツマミを回して、送信先(例：営業2)を選択します。
   ※送信先は履歴からも選択できます。
3. [FUNC]キーを押して、メッセージを選択します。
   - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
4. ツマミを回して、送信するメッセージを選択します。
5. [PTT]を押します。







※送信先が個別の場合だけ、表示部に送信結果(送信成功/応答なし)が表示されます。

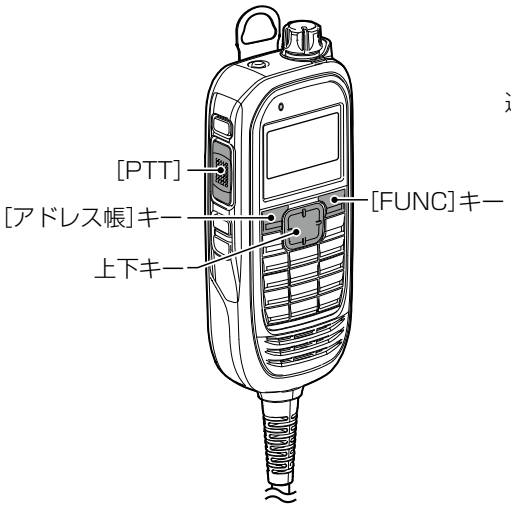


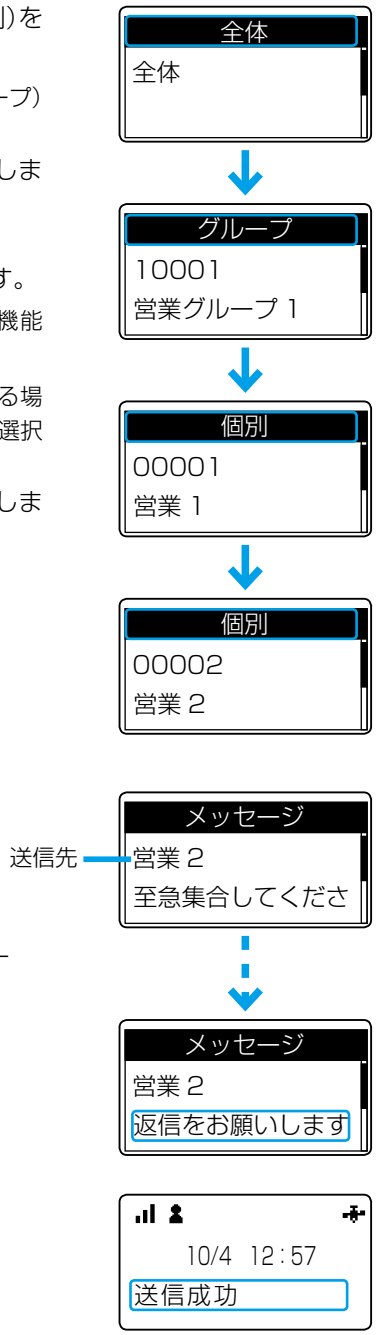
1. メッセージ送信のしかた

■メッセージを送信する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、送信するメッセージが登録され、メッセージ機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例：個別)を選択します。
   - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. 上下キーを押して、送信先(例：営業2)を選択します。
   ※送信先は履歴からも選択できます。
3. [FUNC]キーを押して、メッセージを選択します。
   - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
   - [オプション]キーに「メッセージ」を設定している場合は、[オプション]キーを押して、メッセージを選択できます。(P.1-8)
4. 上下キーを押して、送信するメッセージを選択します。
5. [PTT]を押します。





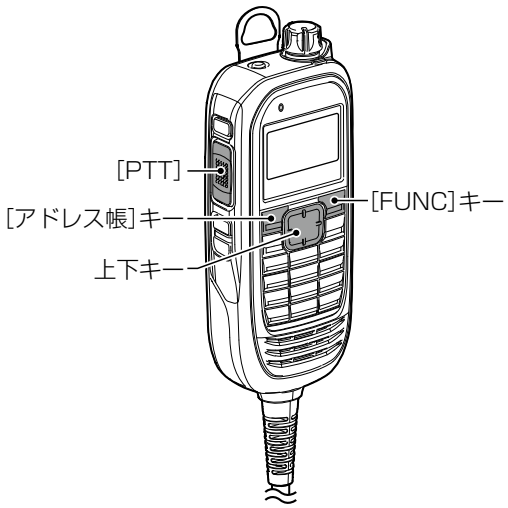
※送信先が個別の場合だけ、表示部に送信結果(送信成功/応答なし)が表示されます。

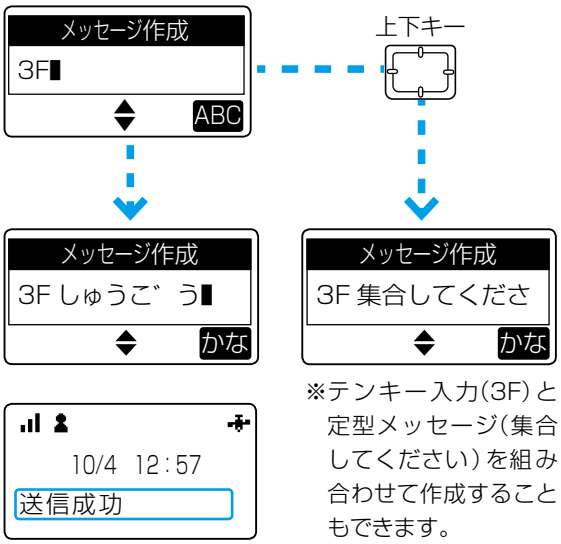
1. メッセージ送信のしかた

■メッセージを作成して送信する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、[オプション]キーにメッセージ作成が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、呼出種別(例：個別)を選択します。
   - キーを押すごとに、全体⇒グループ(トークグループ)⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
2. 上下キーを押して、送信先(例：営業2)を選択します。
   ※送信先は履歴からも選択できます。
3. 「メッセージ作成」を割り当てた[オプション]キー(P.1-8)を押し、テンキー操作でメッセージを作成します。
   ※任意の文字を50文字以内で入力します。
   - [FUNC]キーを押すごとに、入力モードが切り替わります。(かな⇒カナ⇒ABC⇒123)
   - 左右キーを操作すると、カーソルが移動します。
   - 上下キーを操作すると、登録されている定型メッセージを選択できます。
   - [CLR/LOCK]キーを短く押すと1文字消去し、長く(約1秒)押すとすべて消去します。
4. [PTT]を押します。





※送信先が個別の場合だけ、表示部に送信結果(送信成功/応答なし)が表示されます。

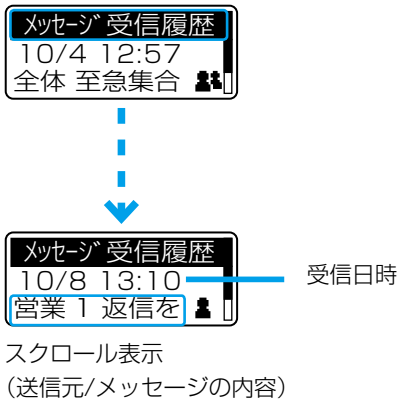
※テンキー入力(3F)と定型メッセージ(集合してください)を組み合わせて作成することもできます。

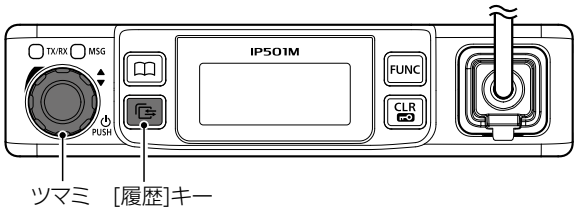
1. メッセージ送信のしかた

■ 受信したメッセージを確認する(HM-241接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP500M(P.5-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [履歴]キーを押して、メッセージ受信履歴を選択します。
   - キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。
2. ツマミを回して、確認するメッセージを選択します。
   ※メッセージを受信していないときは、メッセージ受信履歴は表示されません。

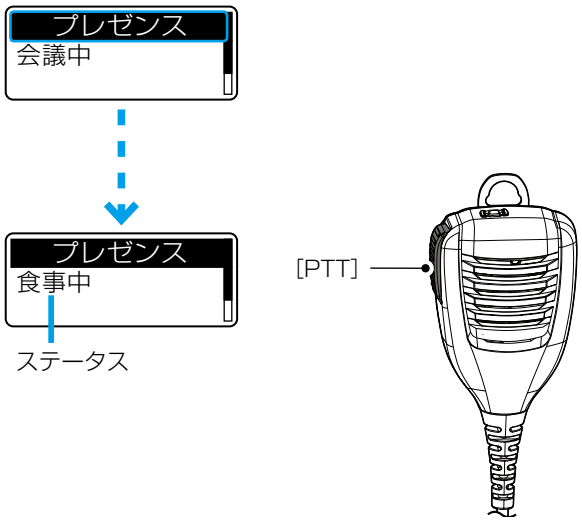


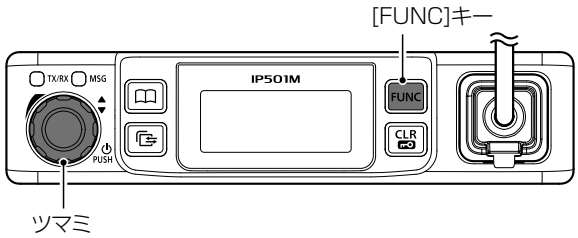


■ プレゼンスを送信する(HM-241接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、送信するステータス(例:会議中/食事中)が登録され、プレゼンス機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーを押して、プレゼンスを選択します。
   - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. ツマミを回して、送信するステータスを選択します。
3. [PTT]を押します。





送信したプレゼンス情報を閲覧するには

端末の位置情報とプレゼンス情報を確認できるソフトウェアとして、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※別途、昭文社のスーパーマップル・デジタル(地図ソフトウェア)が必要です。

※IP501Mの位置情報を表示できるのは、お買い上げ時にIP501MのGPS機能が有効に設定され、IP500G★(弊社製ゲートウェイユニット)側で情報を取得できる場合だけです。

★2019年9月現在、IP500G以外には、IP500M、IP501M、VE-PG4が使用できます。

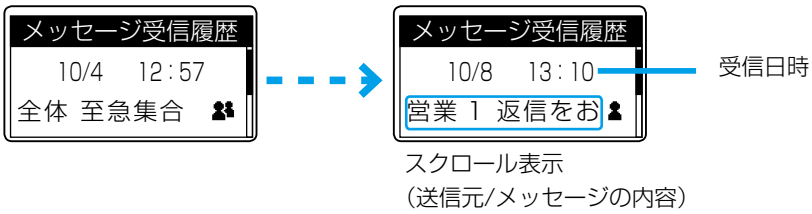
※詳しくは、弊社ホームページ掲載のPM-IP500ご利用ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

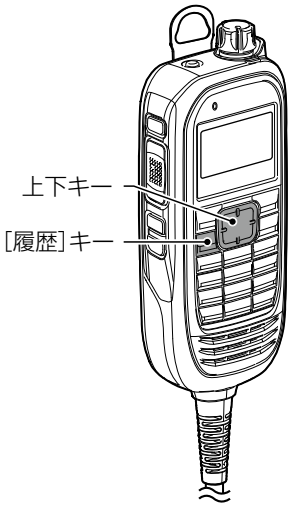
1. メッセージ送信のしかた

■ 受信したメッセージを確認する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、履歴表示が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [履歴]キーを押して、メッセージ受信履歴を選択します。
   - キーを押すごとに、送信⇒受信⇒メッセージ送信⇒メッセージ受信⇒電話発信⇒電話着信と、履歴が切り替わります。
2. 上下キーを押して、確認するメッセージを選択します。
   ※メッセージを受信していないときは、メッセージ受信履歴は表示されません。

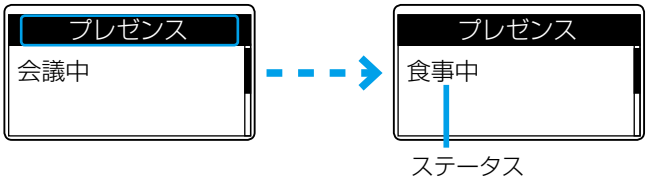


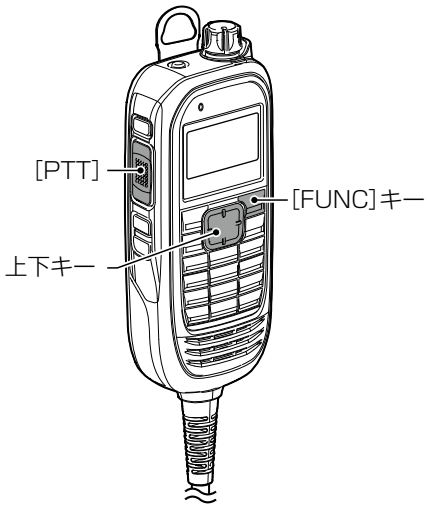


■ プレゼンスを送信する(HM-230接続時)

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、送信するステータス(例:会議中/食事中)が登録され、プレゼンス機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーを押して、プレゼンスを選択します。
   - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. 上下キーを押して、送信するステータスを選択します。
3. [PTT]を押します。





送信したプレゼンス情報を閲覧するには

端末の位置情報とプレゼンス情報を確認できるソフトウェアとして、PM-IP500(弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア)があります。

※別途、昭文社のスーパーマップル・デジタル(地図ソフトウェア)が必要です。

※IP501Mの位置情報を表示できるのは、お買い上げ時にIP501MのGPS機能が有効に設定され、IP500G★(弊社製ゲートウェイユニット)側で情報を取得できる場合だけです。

★2019年9月現在、IP500G以外には、IP500M、IP501M、VE-PG4が使用できます。

※詳しくは、弊社ホームページ掲載のPM-IP500ご利用ガイド(PDFファイル)をご覧ください。

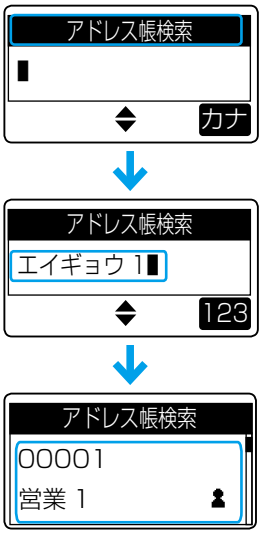
1. メッセージ送信のしかた

■アドレス帳を検索する(HM-230接続時)

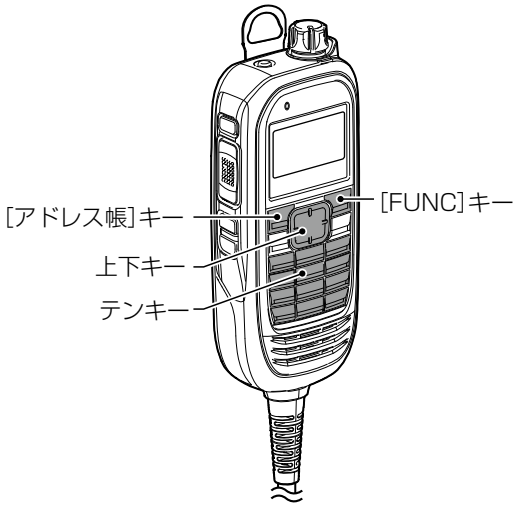
※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、アドレス帳検索機能が有効に設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、「アドレス帳検索」を表示します。
2. テンキーを操作して、アドレス帳のヨミガナを入力します。
   ※ヨミガナはすべて入力しなくても、検索できます。
   - [FUNC]キーを押すごとに、カナ⇒ABC⇒123と入力モードが切り替わります。

番号	名前	ヨミガナ	呼出種別	呼出先番号
1	営業1	ｴｲｷﾞｮｳ1	個別	00001



3. 上下キーを押すと、ヨミガナに一致した相手先が表示されます。
   ※「アドレス帳検索」でトークグループを呼び出した場合、一時的にしか呼び出せません。
   トークグループに所属するには、3-9ページをご覧ください。
   ※ヨミガナの前方一致で検索した場合、最初に表示したアドレスしか呼び出しできません。
   連続して上下キーを押すと、最初に表示したアドレスを先頭にアドレス番号順に表示します。
   - 一致する「ヨミガナ」がない場合は、「プッ」と鳴ります。

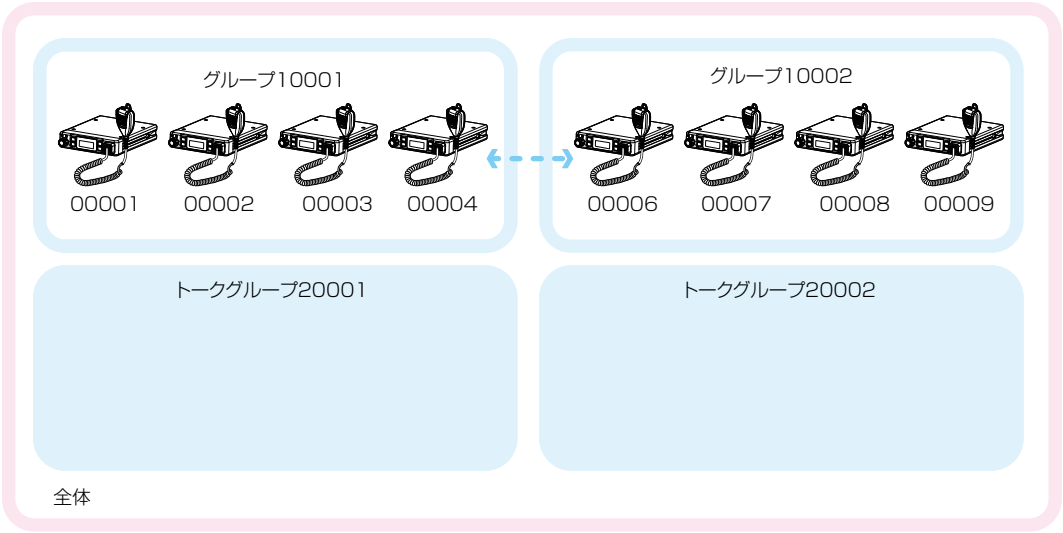


2. トークグループ呼び出しのしかた

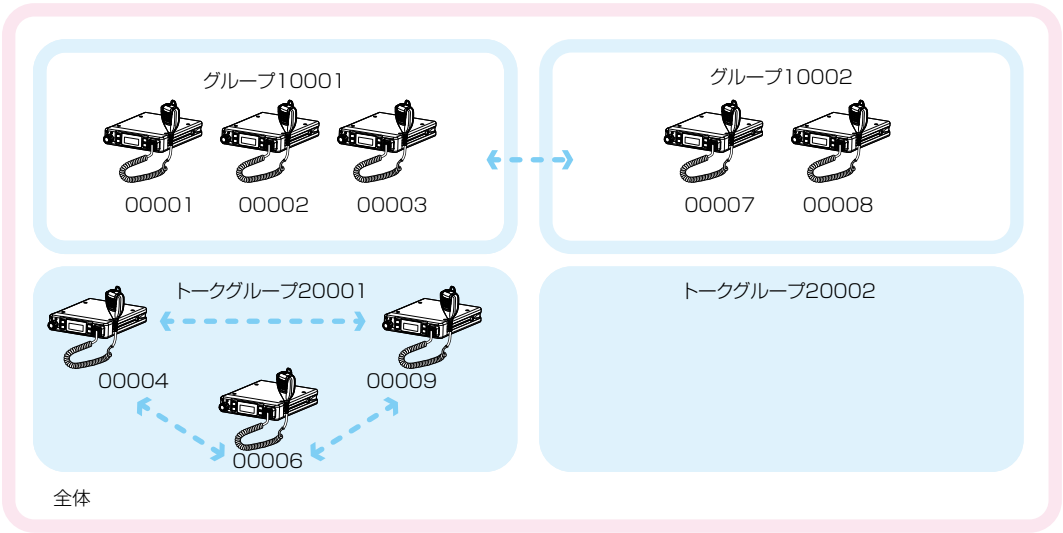
■ トークグループ呼び出しについて

どのグループに所属するかを、端末側で選択できる機能です。
同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。
図のように、トークグループ(例：20001)を選択すると、その端末(例：00004)は通常のグループ(例：10001)からはずれます。
※お買い上げの販売店で、トークグループ番号とトークグループを選択するキーが設定されている場合に使用できます。
※トークグループの選択について詳しくは、3-5ページをご覧ください。
※通常のグループ呼び出し、全体呼び出しの対象にトークグループを含めるかどうかなど、お買い上げの販売店にご依頼ください。

トークグループOFF時



トークグループ選択時



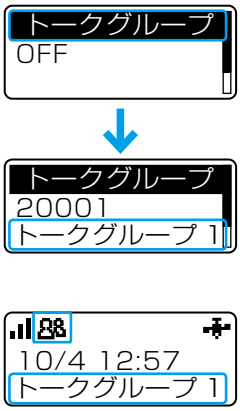
2. トークグループ呼び出しのしかた

■ トークグループを[FUNC]キーで選択するときは(HM-241接続時)

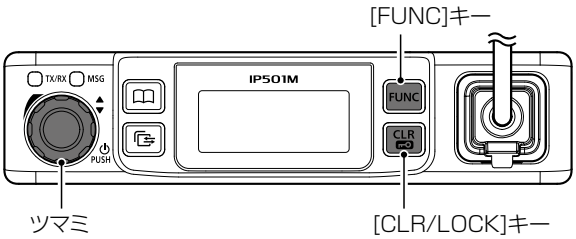
※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーを押して、トークグループを選択します。
   - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. ツマミを回して、トークグループの番号を選択します。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
   - 同じトークグループ番号(例:20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。

   ※トークグループ選択時、「 」が点灯します。
   通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-4)
   ※手順2でOFFを選択すると、トークグループが解除されます。



トークグループ
選択時の待受画面

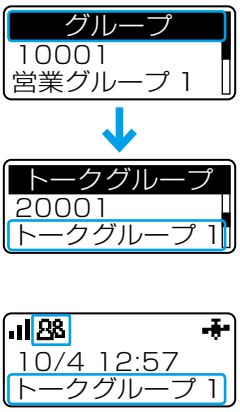


■ トークグループを[アドレス帳]キーで選択するときは(HM-241接続時)

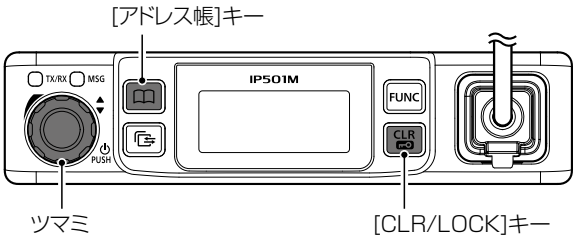
※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

1. [アドレス帳]キーを押して、グループを選択します。
   - キーを押すごとに、アドレス帳検索★⇒全体⇒グループ⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。
     ★「アドレス帳検索」が有効のとき表示されます。
2. ツマミを回して、トークグループの番号を選択します。
   - グループ⇒トークグループの順番に表示されます。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
   - 同じトークグループ番号(例:20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。

   ※トークグループ選択時、「 」が点灯します。
   通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-4)
   ※手順2でグループを選択すると、トークグループが解除されます。



トークグループ
選択時の待受画面



2. トークグループ呼び出しのしかた

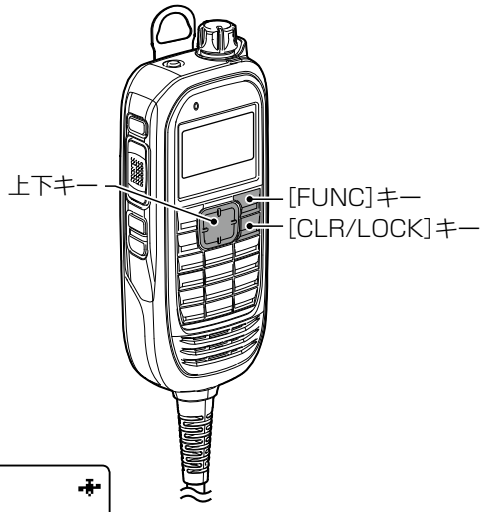
■ トークグループを[FUNC]キーで選択するときは(HM-230接続時)

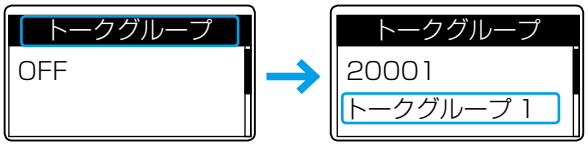
※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

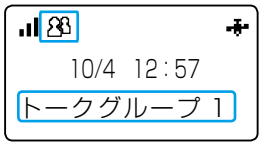
1. [FUNC]キーを押して、トークグループを選択します。
   - キーを押すごとに、あらかじめ割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. 上下キーを押して、トークグループの番号を選択します。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
   - 同じトークグループ番号(例:20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。

   ※トークグループ選択時、「 」が点灯します。
   通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-5)

   ※手順2でOFFを選択すると、トークグループが解除されます。







トークグループ
選択時の待受画面

■ トークグループを[アドレス帳]キーで選選択するときは(HM-230接続時)

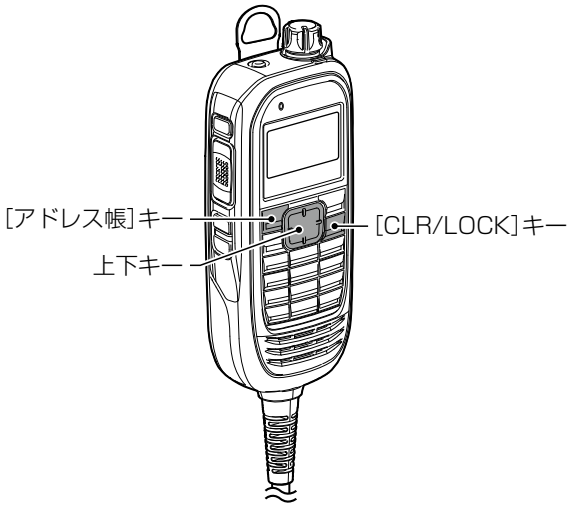
※お買い上げの販売店で、トークグループ番号が設定されている場合に使用できます。

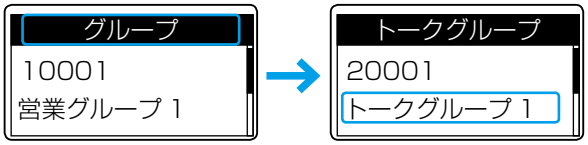
1. [アドレス帳]キーを押して、グループを選択します。
   - キーを押すごとに、アドレス帳検索★⇒全体⇒グループ⇒個別⇒電話と、呼出種別が切り替わります。

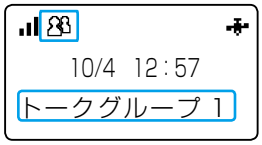
   ★「アドレス帳検索」が有効のとき表示されます。
2. 上下キーを押して、トークグループの番号を選択します。
   - グループ⇒トークグループの順番に表示されます。
3. [CLR/LOCK]キーを押します。
   - 同じトークグループ番号(例:20001)を選択したほかの端末と通話できる状態になります。

   ※トークグループ選択時、「 」が点灯します。
   通常のグループ呼び出しは使用できません。(P.2-5)

   ※手順2でグループを選択すると、トークグループが解除されます。







トークグループ
選択時の待受画面

3. その他の機能について

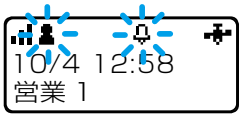
■ ポケットビープ機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせする機能です。

※お買い上げの販売店、本製品のSETモード(P.4-2)、またはCS-IP501M(P.5-2)で設定されている場合に使用できます。
受信通知音とポケットビープ機能が設定されている呼出種別があるときは、「🔔」が点灯します。
その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせします。

待受画面

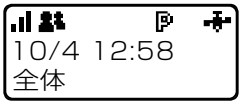
点滅



個別呼び出し受信時

■ Pベル機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音でお知らせする機能です。
応答するまで、相手の音声をミュート(聞こえないように)します。
※[PTT]を押して応答すると、音声ミュートを解除し、相手の音声が聞こえます。
※お買い上げの販売店、本製品のSETモード(P.4-2)、またはCS-IP501M(P.5-2)で設定されている場合に使用できます。
受信通知音とPベル機能が設定されている呼出種別があるときは、「P」が点灯します。
その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音でお知らせします。



待受画面

3. その他の機能について

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)について

迅速な連絡が必要な場合など、あらかじめ設定されている相手に緊急呼び出しをする機能です。

※お買い上げの販売店、またはCS-IP501M(P.5-2)で、緊急呼び出し機能が有効に設定されている場合に使用できます。

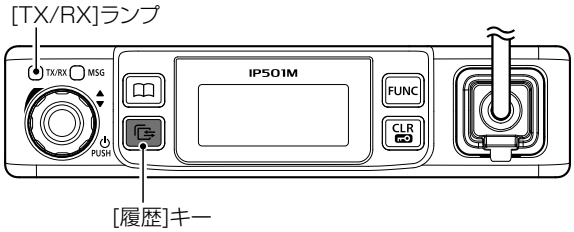
【緊急呼び出しをするときは】

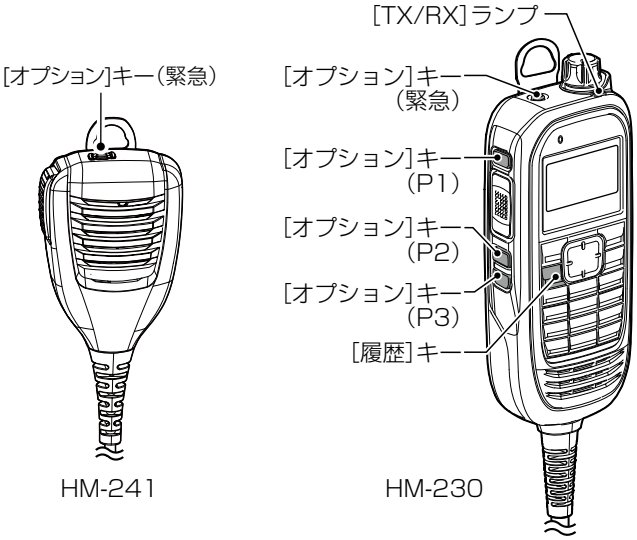
1. 「緊急」と表示されるまで、[オプション]キーを長く押します。
   - 「緊急」が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。

   ※[履歴]キーに機能が設定されている場合も、[オプション]キーと同様に操作できます。

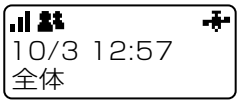
   ※お買い上げの販売店で、サイレントモードに設定されている場合は、警告音や緊急表示は動作しません。
2. 「緊急」表示の状態で、応答を待ちます。
   - 応答があると、警告音(ピロピロ…)が停止し、[TX/RX]ランプが緑色に点灯します。
   - 終話すると、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。

   ※緊急呼び出しを解除するときは、「緊急」の表示が消えるまで[オプション]キーを長く押す、または本製品の電源を切ってください。





緊急呼び出し



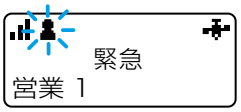
緊急呼び出し
(サイレントモード)

【緊急呼び出しを受けるときは】

1. 「緊急」と呼び出し先が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。

   ※お買い上げの販売店で、サイレントモードに設定されている場合は、警告音は動作しません。
2. [PTT]を押しながら、マイクに向かって、応答します。
   - 警告音(ピロピロ…)が停止します。
   - [PTT]を押しているあいだは、[TX/RX]ランプが赤色に点灯します。
   - 終話すると、緊急呼び出しを受ける前の状態に戻ります。

点滅



緊急呼び出し

ご注意

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能は、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。
補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。
緊急呼び出し機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

3. その他の機能について

■ Lone Worker機能について

本製品を一定時間操作しなかった場合、Lone Worker機能が動作します。
Lone Worker機能が動作すると、緊急呼び出し機能(P.3-5)が自動的に動作します。
警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。
※お買い上げの販売店で、Lone Worker機能が設定されている場合に使用できます。

ご注意
本製品に搭載されているLone Worker機能は、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。
補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。
Lone Worker機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

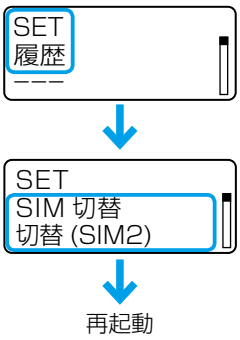
4. SIMカードの切り替えについて

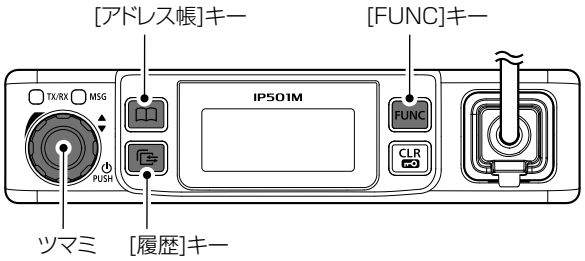
デュアルSIM対応の本製品にはSIMスロットが2つあり、初期設定ではSIM1側のSIMカードを使用して、回線に接続します。
SIMカードを切り替える場合は、SETモード、またはSIM切替機能を割り当てた[FUNC]キーで、SIMスロットを選択してください。再起動後、選択したSIMスロットに装着されているSIMカードを使用して、回線に接続します。

ご参考
切り替え操作後、SIM2からSIM1へ移行する条件は、下記のとおりです。
◎SETモードや[FUNC]キー(P.3-15)で、SIM1に切り替えた場合
◎リセットをした場合(P.4-7)
◎本製品を取り付けた車のエンジンを切る、またはツマミを長く(約1秒)押して電源を切った場合
※お買い上げの販売店で、電源オフ時のSIM選択の初期化が設定されている場合に動作します。

■ 使用するSIMカードをSETモードで切り替えるときは

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「SIM切替」を選択します。
4. ツマミを回して、「切替(SIM2)」を選択します。
   ※お買い上げの販売店で、SIMスロット(SIM1/SIM2)に名前が設定されている場合は、その内容が表示されます。
5. [履歴]キーを押します。
   - SETモードが解除され、本製品が再起動します。





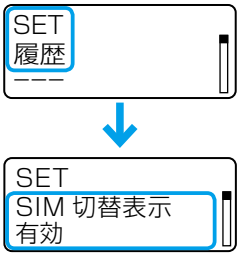
4. SIMカードの切り替えついて

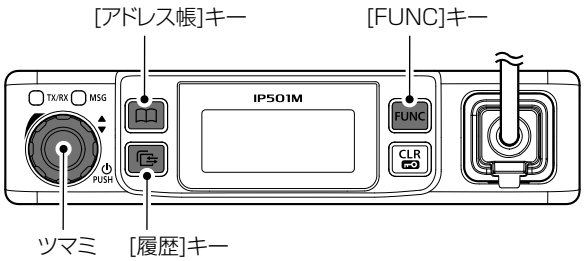
■ 使用するSIMカードを[FUNC]キーで切り替えるときは

※[FUNC]キーの機能が設定されている場合に使用できます。

1. [FUNC]キーで切り替えられるようにSETモード(詳細)で設定する

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. もう一度、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
4. 「SET(詳細)」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
5. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「SIM切替表示」を選択します。
6. ツマミを回して、「有効」を選択します。
7. [PTT]、または[CLR/LOCK]キーを押します。
   - SETモードが解除されます。

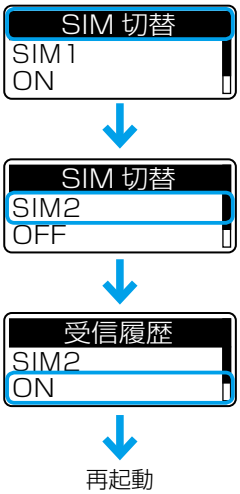


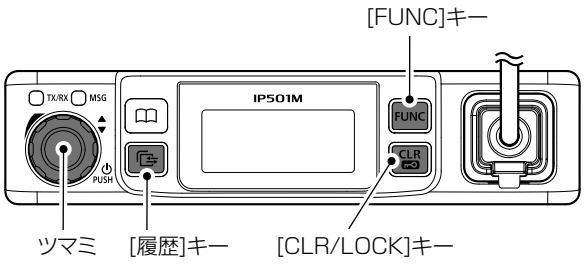


2. SIM切替機能が割り当てられた[FUNC]キーで切り替える

1. [FUNC]キーを押して、SIM切替を選択します。
   ※キーを押すごとに、お買い上げの販売店で割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンス)が表示されます。
2. ツマミを回して、SIMスロットを選択します。(例：SIM2)
   ※お買い上げの販売店で、SIMスロット(SIM1/SIM2)に名前が設定されている場合は、その内容が表示されます。
3. [履歴]キーを押します。
   - OFFからONに切り替わり、本製品が再起動します。

   ※使用中のSIMスロット(ON表示)を選択している場合、切替操作は無効になります。





各種機能の設定（SETモード）

第 4 章

この章では、
本製品の各機能を変更できるSETモードについて説明しています。

1. 設定項目一覧 …… 4-2
2. SETモード（基本）に移行するには …… 4-6
3. SETモード（詳細）に移行するには …… 4-6
4. SETモードで設定を変更するには …… 4-7

初期値について
お買い上げ時の設定により、本書に記載している初期値と異なる場合があります。
初期値については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

4　各種機能の設定（SETモード）

本製品の各機能を変更できるSETモードには、基本と詳細の2種類があります。
※表示される設定項目や初期値は、お買い上げ時の設定によって異なります。
　詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1. 設定項目一覧

下記の設定が変更できます。
　　欄は、SETモード（基本）でも変更できる設定項目です。

項目	内容	選択肢/設定範囲	初期値
履歴	受信や送信の履歴消去	---、CLR（消去）	---
リセット	初期化（初期値に戻す）	NO、YES	NO
FIRM UP	本製品のファームウェア更新	NO、YES	NO
接続通知	個別呼出に成功したときの通知音（ピピッ） ※「無効」にしている場合でも本製品の画面で結果を確認できます。	無効、有効	有効
失敗通知	個別呼出に失敗したときの通知音（プーッ） ※「無効」にしている場合でも本製品の画面で結果を確認できます。	無効、有効	有効
送信開始通知音（個別）	送信開始時の通知音	無効、通知音1～通知音8 ※数字が大きいほど、低い音になります。	通知音1（ピッ）
送信開始通知音（グループ）			
送信開始通知音（全体）			
送信開始通知音（電話）			
受信終了通知音（個別）	音声受信終了時の通知音	無効、通知音1～通知音8 ※数字が大きいほど、低い音になります。	通知音1（ピッ）
受信終了通知音（グループ）			
受信終了通知音（全体）			
受信終了通知音（電話）			
受信通知音（個別）	着信時、またはメッセージ受信時の通知音	無効、通知音1～通知音8 ※数字が大きいほど、低い音になります。	無効
受信通知音（グループ）			
受信通知音（全体）			
受信通知音（電話）			
受信通知音（メッセージ）			
受信通知方式（個別）	着信時の呼出方式	ポケットビープ、Pベル	Pベル
受信通知方式（グループ）			
受信通知方式（全体）			
受信通知方式（電話）			
受信通知回数（個別）	通知音の鳴動回数	連続、1、3、10、20（回）	3回
受信通知回数（グループ）			
受信通知回数（全体）			
受信通知回数（電話）			
受信通知回数（メッセージ）			
受信通知音量	着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量	0～32	10
通信圏外通知音	圏外などで通信できなくなった、または圏内に戻り通信できる状態になったときの通知音（圏外時：ピピッ/圏内時：ポポッ）	無効、有効	無効

4　各種機能の設定(SETモード)

1. 設定項目一覧

下記の設定が変更できます。
　　欄は、SETモード(基本)でも変更できる設定項目です。

項目	内容	選択肢/設定範囲	初期値
VOX	VOX機能対応のヘッドセット(別売品)を接続して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときの設定	無効、Bluetoothマイク	無効
VOXスレッシュ	ヘッドセット(別売品)から音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベル ※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します	0%～100%	40%
エコーキャンセラー	エコーキャンセラー機能	無効、有効	有効
ノイズキャンセラー	ノイズキャンセラー機能	無効、有効	有効
バックライト	バックライト機能	常時点灯、常時消灯、操作時点灯、常時減光、点灯(外部端子で減光)	常時点灯
バックライト(テンキーマイク)	バックライト機能	常時点灯、常時消灯、操作時点灯	操作時点灯
コントラスト	画面表示の輝度設定	1(薄い)～16(濃い)	8
コントラスト(テンキーマイク)	画面表示の輝度設定	1(薄い)～16(濃い)	8
ディマー(テンキーマイク)	バックライトの明度設定	0(暗い)～31(明るい)	31
マイクゲイン	マイク感度	－12dB(低)～12dB(高) (3dB刻み)	0dB
通知音量	送信時や接続時などに鳴る通知音の音量	0～32	10
キー操作音	キーやスイッチを操作したときの確認音	無効、有効	有効
キー操作音量	操作確認音の音量	0～32	10
ジッターバッファー	パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファー	ダイナミック、 40ミリ秒～480ミリ秒 (40ミリ秒刻み)	ダイナミック
待受画面での呼出	待受画面に、呼び出す相手局(呼出種別)を表示する設定	無効、有効	有効
相手局の表示切替	送信や操作後など、待受画面に戻ったときに、表示する相手局(呼出種別)の設定 10/4 12:57 全体 相手局(呼出種別)表示 ※「無効」にすると、呼出先設定としてお買い上げの販売店で設定された相手局(呼出種別)になります。	無効、送信操作(最後に送信した相手局)、送受信操作(最後に送信、または受信した相手局)、全操作(最後に送信、または受信した相手局か、アドレス帳/履歴で表示した相手局)	無効
Bluetooth	Bluetooth機能対応の別売品とペアリングするための設定	無効、有効	無効
Bluetooth自動接続	Bluetooth機能の自動接続を設定する	無効、有効	有効
Bluetoothボリューム連動	Bluetooth接続時に使用する音量設定(ボリューム連動機能) ※「有効」にすると、Bluetooth接続している無線機本体側のツマミでも音量を調整できます。	無効、有効	無効

4　各種機能の設定(SETモード)

1. 設定項目一覧

下記の設定が変更できます。
　　欄は、SETモード(基本)でも変更できる設定項目です。

項目	内容	選択肢/設定範囲	初期値
Bluetooth接続方式	BluetoothヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンクの自動切断機能 ※「自動切断」にすると、Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が約2秒つづいたとき、ヘッドセットとのSCOリンクを自動で切断します。 ※「自動切断」にすると、VOX機能は使用できません。 ※SCOリンクは、音声通信用のBluetoothリンクです。	常時接続、自動切断	常時接続
Mic経路スイッチ	Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、使用するマイクロホンの設定 ※「自動」にすると、[PTT]を押したBluetoothヘッドセット、またはマイクロホンの音声を送信します。	自動、Bluetoothマイク、無線機マイク	自動
Bluetooth AF出力	Bluetooth機能対応の別売品を接続しているときの、無線機本体からの音声出力設定	BTのみ、BT&スピーカー	BTのみ
Bluetoothエコーキャンセラー	Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能	無効、有効	有効
Bluetoothエコーキャンセラー入力ゲイン	Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲイン	−40dB～40dB	0dB
Bluetoothエコーキャンセラー音声遅延	Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延	0ミリ秒～160ミリ秒	35ミリ秒
Bluetoothノイズキャンセラー	Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能	無効、有効	有効
Bluetoothパワーセーブ	Blutooth接続時のパワーセーブ機能 ※「有効」にすると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。 ◎着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音が出力されます。 ◎送信するときは、1度[PTT]を押してはなすと、「プッ」と音がしてパワーセーブが解除されます。 パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。	無効、有効	無効
BluetoothワンタッチPTT	Blutooth接続時のワンタッチPTT機能 ※「有効」にすると、Bluetoothマイクロホンの[PTT]を押しつづける必要がなくなります。	無効、有効	無効
BluetoothワンタッチPTT表示	[FUNC]キーによるBluetoothワンタッチPTTの設定 ※「有効」にすると、Bluetoothワンタッチ PTTを[FUNC]キーで設定できます。	無効、有効	無効
BluetoothPTTビープ	Blutooth接続時のPTTビープ機能 ※「有効」にすると、Bluetoothマイクロホンの[PTT]を押したときに「ピパ」と鳴ります。	無効、有効	無効

1. 設定項目一覧

下記の設定が変更できます。
　　欄は、SETモード(基本)でも変更できる設定項目です。

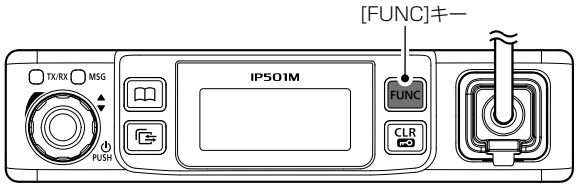
項目	内容	選択肢/設定範囲	初期値
Bluetooth機器検索	Bluetooth機能対応機器の検索	検索	—
Bluetooth機器削除	ペアリング済み機器を削除する	—	機器なし
Bluetooth初期化	ペアリング済み機器をすべて削除する	NO、YES	NO
Bluetoothユニットバージョン	Bluetoothユニットのバージョン表示	—	—
ホーン(外部I/O)★1	受信時に「ホーン」端子をアクティブにする設定 ※外部機器接続コネクター★2にブザーなどの外部機器を接続してください。	無効、有効	無効
アドレス帳選択モード(外部I/O)★1	外部機器を使用して、呼出種別や相手先番号を選択するときの設定 ※外部機器接続コネクター★2に外部機器を接続してください。	無効、有効	無効
SIM切替表示	[FUNC]キーによるSIM切替 ※「有効」にすると、使用するSIMカードを[FUNC]キーで切り替えられます。(P.3-15)	無効、有効	無効
SIM切替	使用するSIMカードの切り替え(P.3-14)	--- (SIM1)★3、切替 (SIM2)★3	--- (SIM1)
HM-230バージョン	テンキーマイクのバージョン表示	—	—
LTEユニットバージョン	通信ユニットのバージョン表示	—	—
IMEI	通信ユニットのIMEI番号表示	—	—
電話番号★4	SIMカードの電話番号表示	—	—
ICCID★4	SIMカードのICCID表示	—	—

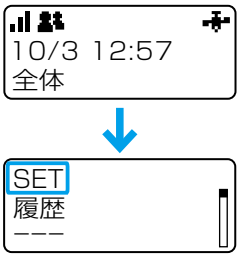
※ご使用になるSIMカードにより、電話番号が「未取得」と表示されることがあります。
★1　お買い上げの販売店で、D-sub 25ピンコネクターの端子に機能が割り当てられているとき、表示されます。
★2　OPC-2407(別売品：D-sub 25ピンコネクター付きケーブル)を本製品に接続して使用します。
　　詳しくは、別紙の取付ガイド(PDFファイル)をご覧ください。
★3　お買い上げの販売店で、各SIMスロットに名前が設定されているときは、その内容が表示されます。
★4　SIM切替で選択しているSIMスロット側の情報が表示されます。

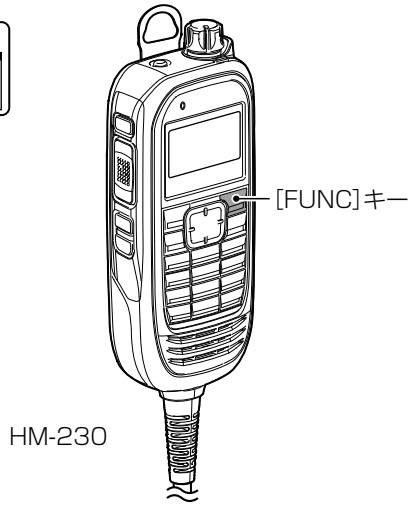
2. SETモード(基本)に移行するには

SETモードを解除(P.4-7)するまで、送信や受信ができません。

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。



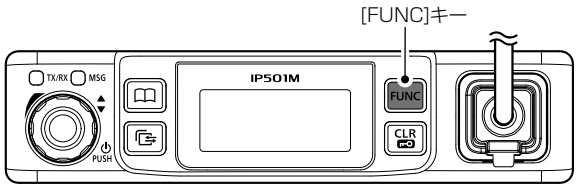


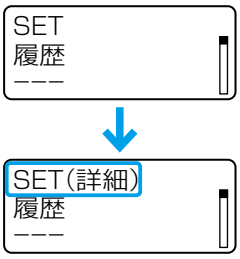


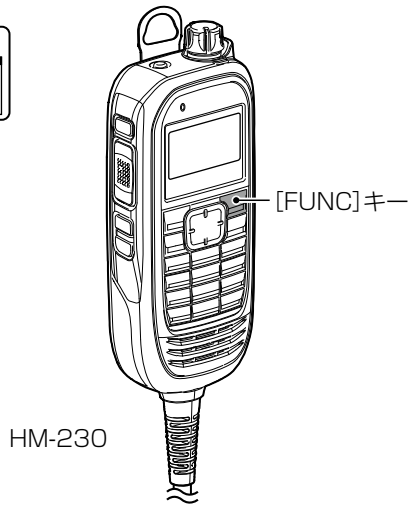
3. SETモード(詳細)に移行するには

SETモードを解除(P.4-7)するまで、送信や受信ができません。

1. 上記の「2. SETモード(基本)に移行するには」を操作します。
2. SETモード(基本)の状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
3. 「SET(詳細)」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。



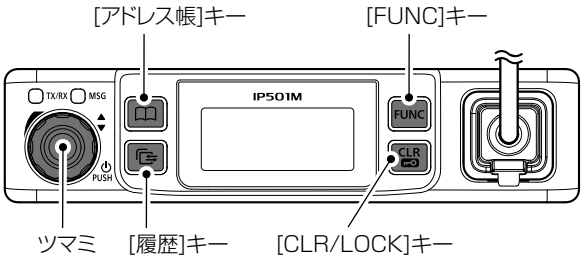


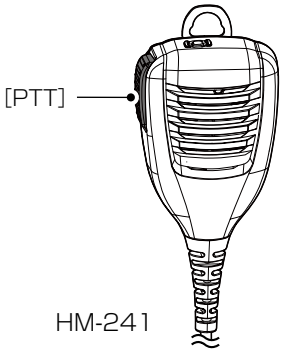


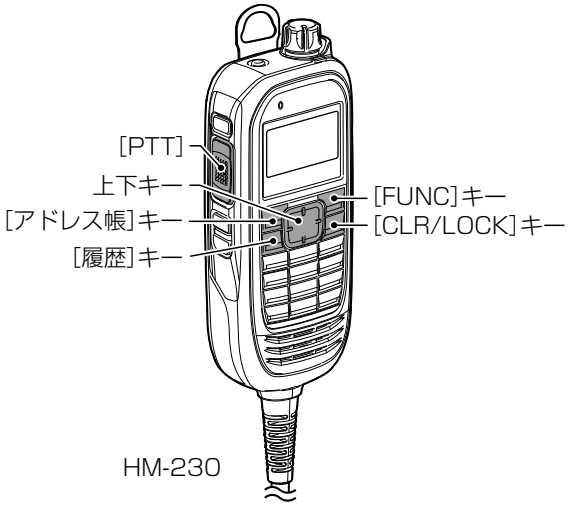
4. SETモードで設定を変更するには

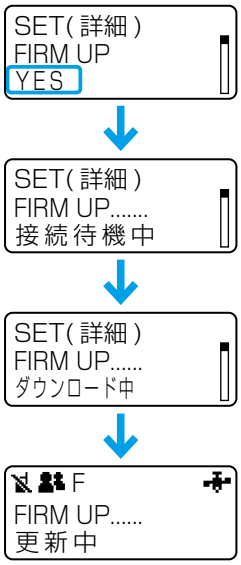
SETモードに移行後、下記の手順で設定を変更できます。

1. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、項目を選択します。
2. ツマミを回して、設定内容を変更します。
   ※HM-230で操作するときは、上下キーを使用します。
   ※ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
3. [PTT]、または[CLR/LOCK]キーを押します。
   - SETモードが解除されます。
   - 下記については、[履歴]キーで実行します。
     リセット(初期化)★、
     FIRM UP(本製品のファームウェア更新)★、
     履歴削除
     ★リセットやFIRM UPを実行後は、本製品が再起動しますので、電源を切らずにお待ちください。

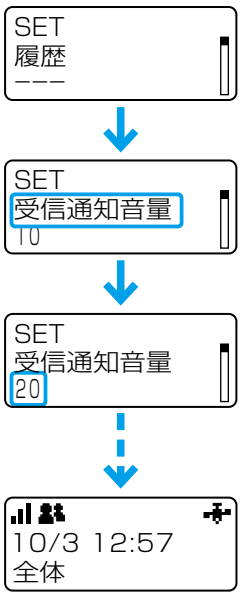








FIRM UP操作時



受信通知音量設定時

別売品とその使いかた

第 5 章

1. 別売品一覧 …… 5-2
2. AM-5（アーム型マイクロホン） …… 5-3
3. SM-28（デスクトップマイクロホン） …… 5-3
4. Bluetooth®の使いかた …… 5-4
■ VS-3について …… 5-5
■ ペアリングのしかた …… 5-6
■ Bluetooth®接続と切断のしかた …… 5-8
■ ペアリングリストの削除 …… 5-11
■ ペアリングリストの初期化 …… 5-11
■ VS-3ペアリングリストの初期化 …… 5-12

5 別売品とその使いかた

1. 別売品一覧

弊社ホームページ http://www.icom.co.jp/ でも、別売品についてご覧いただけます。

別売品についてのご注意
弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障、または動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

マイクロホン関係

AM-5 ：アーム型マイクロホン（磁石付き基台）
SM-28 ：デスクトップマイクロホン
HM-241★1 ：スピーカーマイクロホン
HM-230★2 ：テンキー付きマイクロホン
OPC-2355 ：マイクロホン延長ケーブル（約2.5m）
※モジュラープラグが防水タイプになります。
※AM-5、SM-28、HM-241、HM-230のいずれかでお使いになれます。
※最大2本まで接続してお使いになれます。

ヘッドセット

VS-3 ：Bluetooth®ヘッドセット

外部スピーカー

SP-30 ：外部スピーカー（20W/4Ω）
※ケーブル長：約2.8m
SP-35 ：外部スピーカー（5W/4Ω）
※ケーブル長：約2m

外部電源

PS-230A ：卓上電源装置
（スピーカー内蔵：7W/8Ω）

そのほか

OPC-1940 ：プログラミングケーブル
OPC-2407 ：D-sub 25ピンコネクター付きケーブル

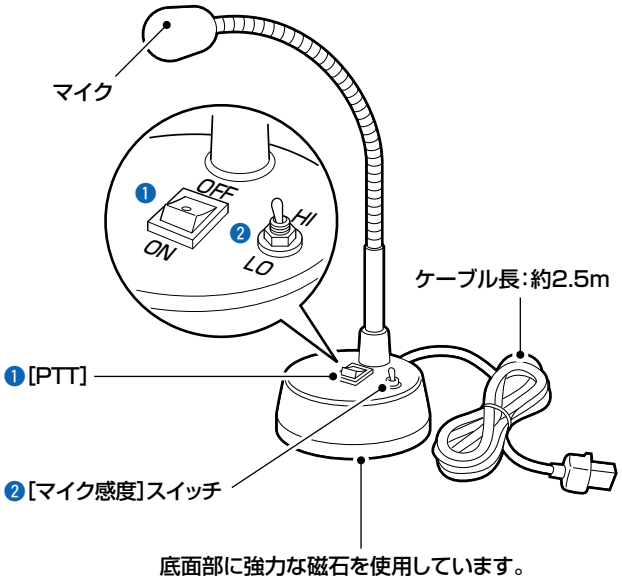
★1 IP54の防塵/防水性能があります。
★2 IP55の防塵/防水性能があります。
※防塵/防水性能は、「IP表記について」（P.ii）をご覧ください。

CS-IP501Mについて
本製品をパソコンから設定するためのソフトウェアとして、CS-IP501M（弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア）があります。
※ 弊社ホームページに掲載の「CS-IP501M 取扱説明書」をよくお読みいただき、手順にしたがって別売品のプログラミングケーブル（OPC-1940）を接続してください。
※ このソフトウェアは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップをすることがあります。
バージョンアップの作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

PM-IP500について
本製品の位置情報を確認したい場合は、地図上に位置情報を表示するためのソフトウェアとして、PM-IP500（弊社ホームページからダウンロードできるフリーウェア）があります。
※ 弊社ホームページに掲載の「PM-IP500 ご利用ガイド」をよくお読みいただき、手順にしたがって、インストールしてください。
※ このソフトウェアは、機能の拡張や改良のため、バージョンアップをすることがあります。
バージョンアップの作業をする前に、弊社ホームページに記載の内容をご確認ください。

2. AM-5(アーム型マイクロホン)

エレクトレットコンデンサーマイクロホンです。
※外部スピーカー(別売品：SP-30、SP-35)と併せてご用意ください。



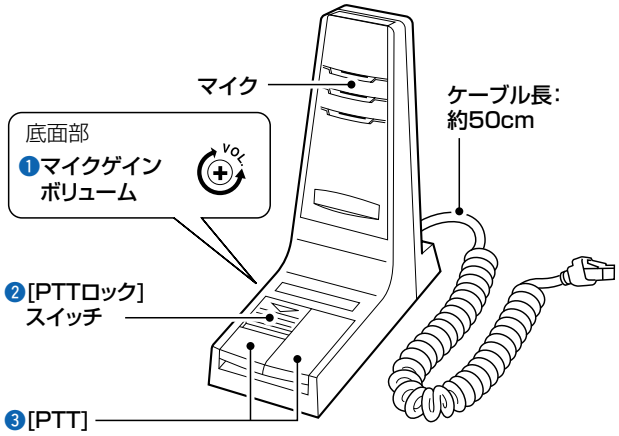
❶ [PTT]
「ON」にすると送信、「OFF」にすると待ち受け状態になります。

❷ [マイク感度]スイッチ
「HI」にすると感度が高くなり、「LO」にすると低くなります。
※マイクとの距離、声の大きさ、周囲の騒音など、環境に応じて、切り替えてください。

⚠警告
心臓ペースメーカーなど電子医療機器をお使いのかたは、心臓ペースメーカーなどの植え込み部位の上にマイクロホンの底面部を近づけたり、当てたりしないでください。
電子医療機器などの動作に影響を与え、生命の危険があります。
⚠注意
時計、コンパスや精密機器、キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気/ICカードを近づけないでください。
製品の誤動作の原因になったり、磁気/ICカードの内容が消去されたりすることがあります。

3. SM-28(デスクトップマイクロホン)

マイクアンプ内蔵の単一指向性ダイナミックマイクロホンです。
※外部スピーカー(別売品：SP-30、SP-35)と併せてご用意ください。



❶ マイクゲインボリューム
マイクとの距離、声の大きさ、周囲の騒音など、環境に応じて、マイクの感度を調整します。
※ボリュームを左に回すと、感度が高くなります。

❷ [PTTロック]スイッチ
押しながら三角印の方向にスライドすると、[PTT](❸)がロックされ、ハンズフリーで送信できます。
ロックを解除するときは、反対方向にスライドします。

❸ [PTT]
押しているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に戻ります。

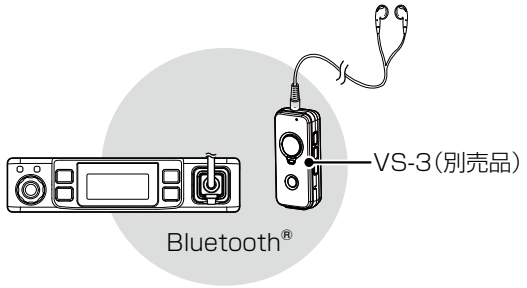
4. Bluetooth® の使いかた

◎本製品のBluetooth機能を有効にすると、Bluetooth対応機器と接続できます。
※2019年9月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。
※この機能は、お買い上げの販売店、またはSETモードでの設定が必要です。(P.4-3)
◎Bluetoothの通信範囲は、約10m(目安)です。
◎本製品は、最大6台までのBluetooth機器を登録できますが、本製品とBluetooth機器を1対1の組み合わせで設定されることをおすすめします。

Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信距離が著しく変化します。
- **電子レンジなどによる妨害**
- **無線LANによる妨害**

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。
また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

本製品と別売品のVS-3をBluetoothで接続することで、VS-3から送受信できます。



※本製品にBluetooth接続した場合、VS-3の[早送り]ボタン、[再生]ボタン、[早戻し]ボタンは使用できません。

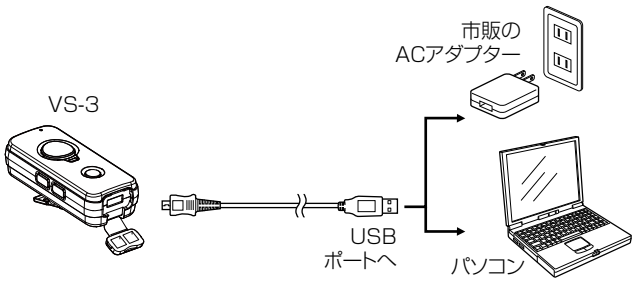
4. Bluetooth® の使いかた

■ VS-3について

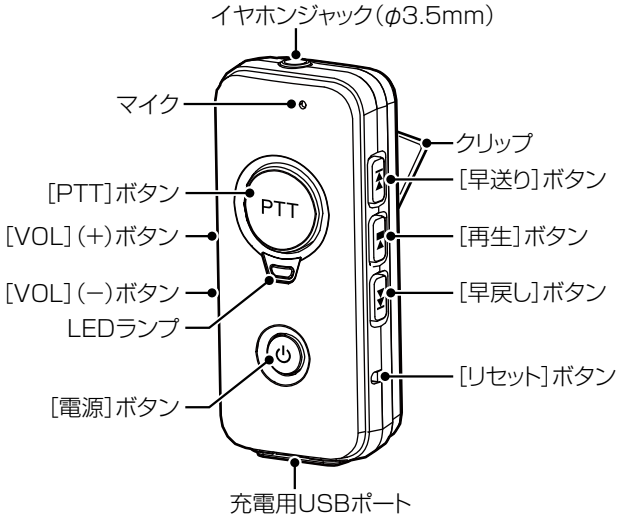
ご使用の前に、VS-3を必ず充電してください。
また、使用中に、LEDランプが赤色で3秒に1回点滅する場合も、充電してください。

1. 本製品の電源が切れているか確認します。
   ※電源が入っている場合は、[電源]ボタンを長く(約3秒)押して、電源を切ってください。
2. 充電用USBポートのゴムカバーを開け、付属の充電用USBケーブルを市販のUSBポート付きACアダプターやパソコンなどのUSBポートに接続します。
   - 充電中は、LEDランプが赤色に点灯します。
   - 充電が完了すると、LEDランプが消灯します。

⚠充電時のご注意
充電時間は約3時間です。
充電時間が経過してもLEDランプが消灯しない場合は、充電用USBケーブルを取りはずし、充電を中止してください。指定時間以上の充電は、寿命が低下したり、保護装置が動作して充電できなくなったり、保護装置が破損したりして、破裂、発煙、発火や火災、液もれ、やけどの原因になります。
また、充電中は、本製品を使用できません。



ご参考
◎電源が入っているのに操作してもBluetoothが動作しない場合など、電源を強制終了させるときに[リセット]ボタンを使用します。
◎音量を小さく設定すると、受信時の音量が安定しないことがありますので、本製品の音量設定は、「28」以上をおすすめします。(ボリューム連動機能有効時：P.4-3)
※ 本製品にBluetooth接続した場合、VS-3の[早送り]ボタン、[再生]ボタン、[早戻し]ボタンは使用できません。



機能	操作	確認音	Bluetooth接続ランプ
Bluetooth機能ON	[電源]ボタンを約3秒押す	メロディ音(上がる)	青色に点滅
Bluetooth機能OFF	[電源]ボタンを約3秒押す	メロディ音(下がる)	消灯
ペアリング	Bluetooth機能OFF時、[電源]ボタンを約6秒押す	接続待機中：ピパ 接続完了　：ピロッ	赤色と青色で交互に点滅 3秒間隔で青色2回点滅
送信する★1	[PTT]ボタンを押す	ピッ★2(初期値)	3秒間隔で赤色1回点滅→青色2回点滅
音量を上げる★1	[VOL](+)ボタンを押す	ピー(高音)※最大音量時	—
音量を下げる★1	[VOL](−)ボタンを押す	ブー(低音)※最小音量時	—

※初回起動時(ペアリングリストがないとき)は、Bluetooth機能ON時、常にペアリング状態で起動します。
確認音も「ピパ」だけです。
★1 Bluetooth接続時に使用できる機能です。
★2 SETモードの「送信開始通知音」設定(P.4-2)と「BluetoothPTTビープ」設定(P.4-4)の組み合わせにより音色が変化します。

4. Bluetooth® の使いかた

■ ペアリングのしかた

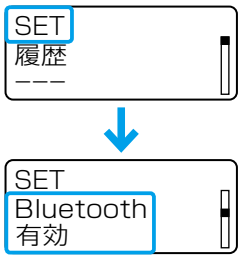
ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。
一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。

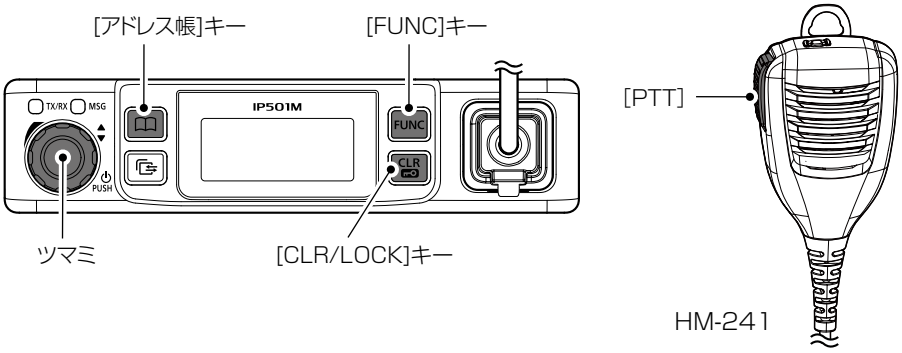
◎複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検索できないことがあります。
このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。
◎電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、無線機本体側のスピーカーから音が出るように切り替わります。
無線機本体側の音量の上げすぎにご注意ください。

※2019年9月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。

1. Bluetooth機能をONにする

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「Bluetooth」を選択します。
4. ツマミを回して、「有効」を選択します。
5. [PTT]、または[CLR/LOCK]キーを押します。
   - SETモードが解除されます。



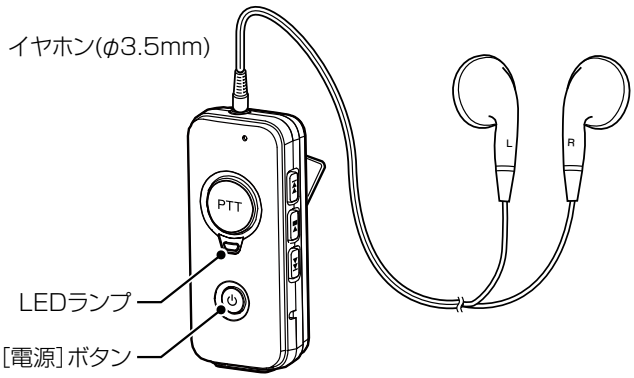


4. Bluetooth® の使いかた

■ ペアリングのしかた

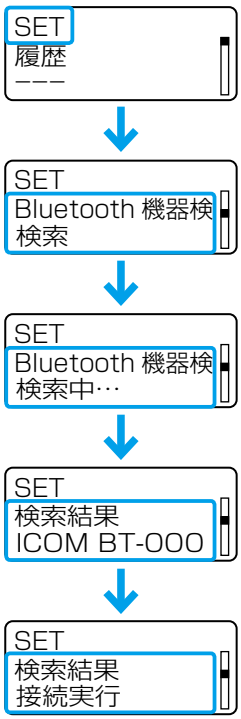
2. VS-3をペアリングモードにする

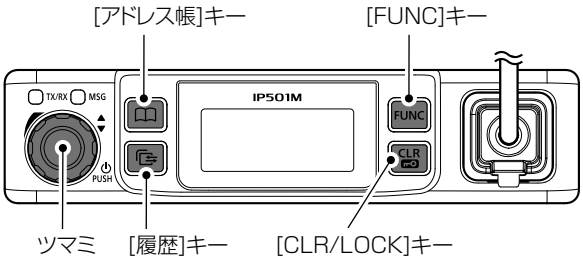
1. Bluetooth機能OFF時、LEDランプが赤/青交互に点滅するまで、[電源]ボタンを長く(約6秒)押します。
2. 数秒後、「ピパ」と音がして、LEDランプが赤/青交互に点滅したら、ボタンから手をはなします。
   ※はじめてVS-3をご使用になる場合やVS-3のペアリングリストを初期化したあと(P.5-12)は、電源を入れるだけでペアリングモードになります。
   ※ペアリングする機器がない状態が5分つづくと、ペアリングモードが解除され、さらに5分経過すると、電源が切れます。

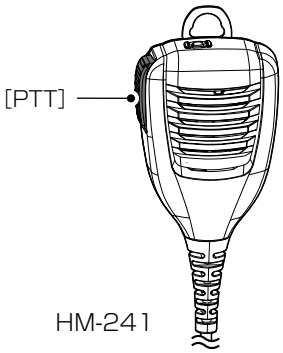


3. 本製品からペアリングする対象機器を検索する

1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「Bluetooth機器検索」を選択します。
4. [履歴]キーを押します。
   - 「検索中…」が表示されます。
   - 検索が完了すると、対象機器の名称とBDアドレスが表示されます。
5. 表示された検索結果を確認し、[履歴]キーを押します。
   - 選択した機器とペアリングすると、「接続実行」が表示されます。
   - 再検索するときは、ツマミを回して「検索」を選択し、[履歴]キーを押します。
6. [PTT]、または[CLR/LOCK]キーを押します。
   - SETモードが解除されます。







4. Bluetooth® の使いかた

■ Bluetooth®接続と切断のしかた

VS-3からBluetooth接続するときは(LEDランプ消灯時)

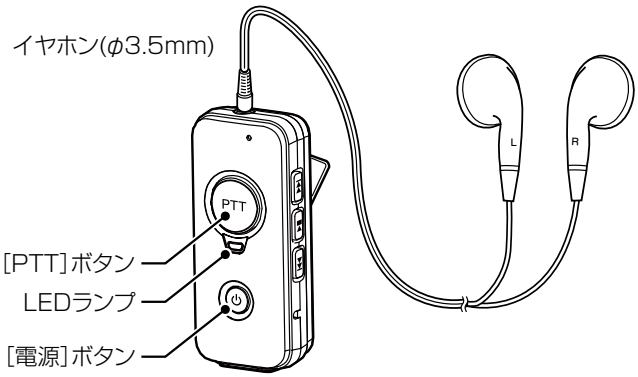
あらかじめ、本製品のBluetooth機能をONにしておきます。(P.5-6)
VS-3の[電源]ボタンを長く(約3秒)押します。

- Bluetooth機能がONになり、LEDランプが青色に点滅します。
- 数秒後、「ピロッ」と音がして、本製品とBluetoothで接続されます。

VS-3からBluetooth接続するときは(LEDランプ青点滅時)

あらかじめ、本製品のBluetooth機能をONにしておきます。(P.5-6)
VS-3の[PTT]ボタンを短く押します。

- 数秒後、「ピロッ」と音がして、最後に接続したIP無線機とBluetoothで接続されます。
  ※ペアリング時に接続する機器のBDアドレス(P.5-7)をメモしておくと、IP無線機側の画面(P.5-10)で、どの機器と接続しているか確認しやすくなります。



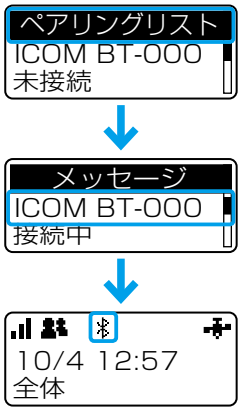
4. Bluetooth® の使いかた

■ Bluetooth®接続と切断のしかた

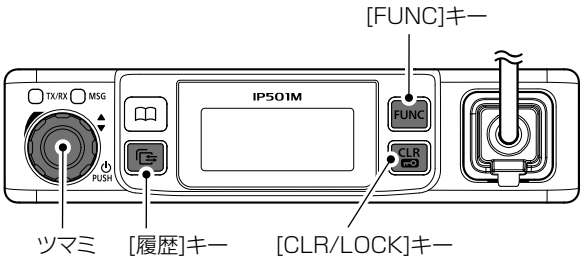
本製品のペアリングリストからBluetooth接続するときは

あらかじめ、本製品のBluetooth機能をONにしておきます。（P.5-6）

1. ［FUNC］キーを押して、ペアリングリストを選択します。
   ※キーを押すごとに、お買い上げの販売店で割り当てられた機能（メッセージ/プレゼンスなど）が表示されます。
2. ツマミを回して、接続対象の機器を選択します。
3. ［履歴］キーを押します。
   - 数秒後、「ピロッ」と音がして、本製品とBluetoothで接続されます。
4. ［CLR/LOCK］キーを押します。
   - 待受画面に戻ります。



「✱」が点灯します。

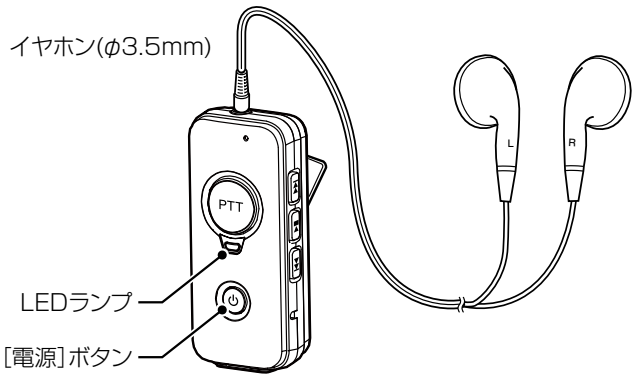


4. Bluetooth® の使いかた

■ Bluetooth®接続と切断のしかた

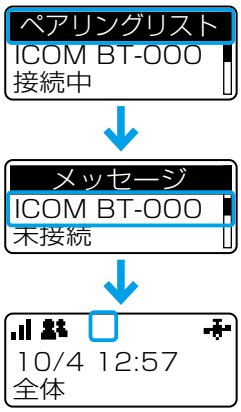
VS-3からBluetooth接続を切断するときは(LEDランプ青点滅時)

VS-3の[電源]ボタンを長く(約3秒)押します。
• 「プッ」と音がしたあと、メロディ音(下がる)が鳴り、Bluetooth接続が切断されます。

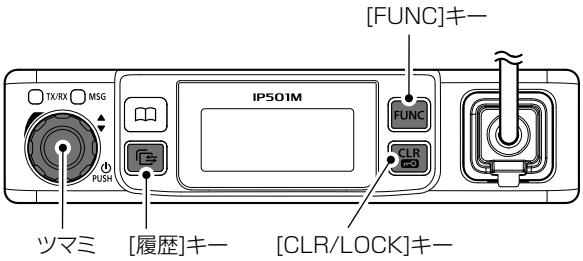


本製品のペアリングリストからBluetooth接続を切断するときは

1. [FUNC]キーを押して、ペアリングリストを選択します。
   ※キーを押すごとに、お買い上げの販売店で割り当てられた機能(メッセージ/プレゼンスなど)が表示されます。
2. ツマミを回して、切断対象の機器を選択します。
3. [履歴]キーを押します。
   • 数秒後、「プー」と音がして、Bluetooth接続が切断されます。
4. [CLR/LOCK]キーを押します。
   • 待受画面に戻ります。



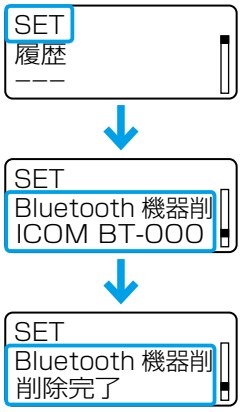
「✱」が消灯します。



4. Bluetooth® の使いかた

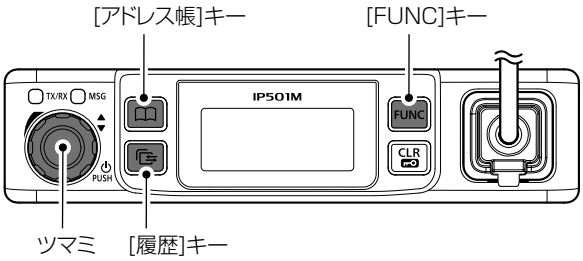
■ ペアリングリストの削除

ペアリングしたBluetooth機器の情報を本製品から削除するときの手順です。
※接続中の機器を削除する場合は、5-10ページの手順で先に切断してください。



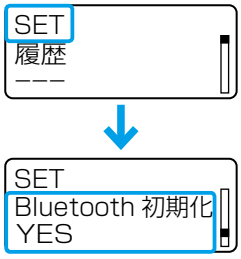
1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「Bluetooth機器検索」を選択します。
4. ツマミを回して、削除対象の機器を選択します。
5. [履歴]キーを押します。
   - 「削除しますか?」が表示されます。
6. [履歴]キーを押します。
   - 選択した機器がリストから削除されます。

   ※削除を中止する場合は、[履歴]キー以外のいずれかを押します。



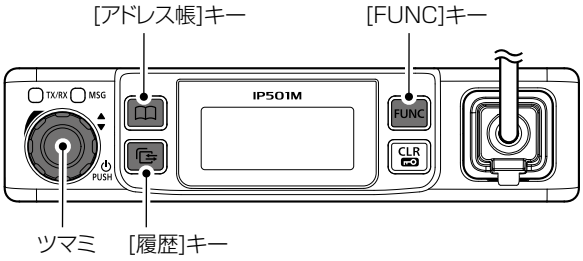
■ ペアリングリストの初期化

正しく動作しないと思われた場合は、下記の手順で本製品のペアリングリストを初期化してください。
※ペアリングリストを初期化すると、ペアリングしたBluetooth機器の情報が本製品からすべて削除されます。
※SETモードでリセットしても、ペアリングリストは初期化されません。(P.4-2)



1. 待受画面が表示されている状態で、[FUNC]キーを長く(約3秒)押します。
2. 「SET」が表示されたら、[FUNC]キーから手をはなします。
3. [アドレス帳]キー、または[FUNC]キーを押して、「Bluetooth初期化」を選択します。
4. ツマミを回して、「YES」を選択します。
5. [履歴]キーを押します。
   - リストが初期化され、自動的に本製品が再起動します。

   ※初期化を中止する場合は、[履歴]キー以外のいずれかを押します。



4. Bluetooth® の使いかた

■ VS-3ペアリングリストの初期化

正しく動作しないと思われた場合は、下記の手順でペアリングリストを初期化してください。

1. ［電源］ボタンを長く（約3秒）押して、Bluetooth機能をONにします。
   - LEDランプが青色に点滅します。
2. ［電源］ボタンを長く（約3秒）押して、Bluetooth機能をOFFにします。
   - LEDランプが消灯します。
3. 10秒以内に、［VOL］（−）ボタンと［VOL］（+）ボタンを押しながら、［電源］ボタンを10秒押します。
   - LEDランプが紫色に点灯し、ペアリングリストが初期化されます。

ご参考に

第 6 章

1. 困ったときは …… 6-2
2. ヒューズの交換について …… 6-3
3. アフターサービスについて …… 6-3
4. 定格について …… 6-4
■ 一般仕様 …… 6-4
■ 音声部 …… 6-4
■ 有線LAN部 …… 6-4
■ Bluetooth®部 …… 6-4
■ HM-241 スピーカーマイクロホン …… 6-5
■ HM-230 テンキー付きマイクロホン …… 6-5

1. 困ったときは

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.6-3)までお問い合わせください。

電源が入らない

●接続端子の接触不良
→ 安定化電源装置、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)との接続を確認する(別紙のIP501M取付ガイド)

●DC電源ケーブルのヒューズが切れている
→ 原因を取り除いたあとで、新品のヒューズと交換する(P.6-3)

スピーカーから音が聞こえない

●音量が最小に調整されている
→ 無線機本体の音量レベルを確認する(P.1-3)

●マイクロホン、または外部スピーカー端子が接続されていない
→ マイクロホン、または外部スピーカーが正常に接続されているか、ケーブルが断線していないかを点検する

通話できない

●相手局番号、またはグループ番号を間違えている
→ 相手局番号、またはグループ番号を確認する

相手から応答がない

●圏外(点滅)になっている
→ 場所を移動してから通話してみる

●未レジスト(点灯)になっている
→ 再レジストのために、[PTT]を押す
→ しばらく待つ、または場所を移動する
→ LTEの回線契約、開通が完了しているかどうかを確認する

●相手局が不在、または電源を切っている
→ 相手局の状態を確認する

操作キーを押すと、「キーロック」と表示される

●ロック機能が動作している
→ ロック機能を解除する(P.1-10)

圏外(点滅)、または「接続試行中」と表示される

●電波が不安定な場所にいる
→ 場所を移動してみる
→ 無線機の電源を入れなおす

Bluetooth対応機器とペアリングできない

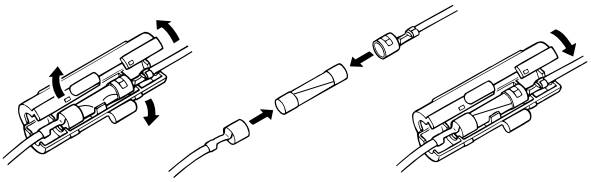
●ペアリングモードになっていない
→ ペアリングモードにする(P.5-7)

●周辺にBluetooth対応機器が複数稼働している
→ ほかのBluetooth対応機器を停止させる
→ ほかのBluetooth対応機器のない場所に移動する

●周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している
→ ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする

2. ヒューズの交換について

DC電源ケーブル(付属品)には、2本のヒューズ(125V/5A)が使用されています。
※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいもの(付属品)と交換してください。



3. アフターサービスについて

「困ったときは」(P.6-2)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。
修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● **保証書について**
保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

● **弊社製品のお問い合わせ先について**
お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先
アイコム株式会社　サポートセンター
0120-156-313(フリーダイヤル)
◆ **携帯電話・PHS・公衆電話からのご利用は、**
06-6792-4949(通話料がかかります)
受付(平日 9:00～17:00)
電子メール：support_center@icom.co.jp
アイコムホームページ：http://www.icom.co.jp/

4. 定格について

■ 一般仕様

使用温度範囲：－10～+60℃
湿度：25～85%以下（結露状態を除く）
外形寸法：125（W）×29（H）×156（D） mm（突起物を除く）
重量：約840g（本体のみ）
電源：DC13.8V±10% /DC26.4V±10%
適合規格：クラスB情報技術装置（VCCI）
インターフェース：ランプ（TX/RX、MSG）
[LAN]コネクター
アンテナコネクター（LTE用×2、GPS用×1）
外部機器接続コネクター（OPC-2407（別売品：D-sub 25ピンコネクター付きケーブル）を取り付け）
外部スピーカージャック（φ3.5mm）
防水関係：IP54

■ 音声部

音声符号形式：G.726
低周波出力：4W以上（外部スピーカー 4Ω 10%歪時）
マイクインピーダンス：600Ω
低周波負荷インピーダンス：外部スピーカー 4Ω

■ 有線LAN部

通信速度：10/100Mbps（自動切り替え/全二重）
インターフェース：[LAN]ポート（RJ-45型）×1（Auto MDI/MDI-X）
●IEEE802.3/10BASE-T準拠
●IEEE802.3u/100BASE-TX準拠

■ Bluetooth®部

周波数範囲：2402～2480MHz
対応バージョン：Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル：HFP、HSP、SPP

※定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

4. 定格について

■ HM-241 スピーカーマイクロホン

使用温度範囲：−20～+60℃
低周波出力：0.7W以上(8Ω、10%歪時)
低周波出力インピーダンス：8Ω
重量：約215g
寸法：約65(W)×148(H)×34(D) mm(ケーブル部分を除く)

■ HM-230 テンキー付きマイクロホン

使用温度範囲：−20～+60℃
低周波出力：0.7W以上(12Ω、10%歪時)
低周波出力インピーダンス：12Ω
重量：約250g
寸法：約60(W)×187(H)×37(D) mm(ケーブル部分を除く)

※定格･仕様･外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

さくいん

A

AM-5 …… 5-3

B

Bluetooth …… 4-3
- AF出力 …… 4-4
- Mic経路スイッチ …… 4-4
- PTTビープ …… 4-4
- エコーキャンセラー …… 4-4
- エコーキャンセラー音声遅延 …… 4-4
- エコーキャンセラー入力ゲイン …… 4-4
- 機器検索 …… 4-5
- 機器削除 …… 4-5
- 自動接続 …… 4-3
- 初期化 …… 4-5
- 接続と切断のしかた …… 5-8
- 接続方式 …… 4-4
- ノイズキャンセラー …… 4-4
- パワーセーブ …… 4-4
- ペアリングできない …… 6-2
- ペアリングのしかた …… 5-6
- ペアリングリストの削除 …… 5-11
- ペアリングリストの初期化 …… 5-11, 5-12
- ボリューム連動 …… 4-3
- ユニットバージョン …… 4-5
- ワンタッチPTT …… 4-4
- ワンタッチPTT表示 …… 4-4

C

[CLR/LOCK]キー …… 1-6, 1-7

F

FIRM UP …… 4-2
[FUNC]キー …… 1-6, 1-7

G

GPS表示 …… 1-5

H

HM-230 …… 6-5
HM-230バージョン …… 4-5
HM-241 …… 6-5

I

ICCID …… 4-5
IMEI …… 4-5

L

Lone Worker …… 3-13
LTEユニットバージョン …… 4-5

P

PM-IP500 …… 3-5
Pベル …… 3-11, 4-2

S

SETモード …… 4-2
SETモード(詳細) …… 4-6
SIM切替 …… 3-14, 4-5
SIM切替表示 …… 3-15, 4-5
SM-28 …… 5-3

T

[TX/RX]ランプ …… 2-2

V

VOX …… 4-3
VOXスレッシュ …… 4-3
VS-3 …… 5-5

あ

相手から応答がない …… 6-2
相手局の表示切替 …… 4-3
アドレス帳からの呼出 …… 2-4, 2-5
[アドレス帳]キー …… 1-6, 1-7
アドレス帳選択モード(外部I/O) …… 1-8

え

エコーキャンセラー …… 4-3
エマージェンシー …… 1-8, 3-12

お

[オプション]キー …… 1-8
音量ツマミ …… 1-4

き

キー操作音 …… 2-3, 4-3
キー操作音量 …… 4-3
緊急呼び出し機能 …… 3-12

こ

コントラスト …… 4-3

さくいん

し

自局番号…… 1-2
ジッターバッファー…… 4-3
失敗通知…… 4-2
シャットダウン処理…… 1-2
十字キー…… 1-7
受信終了通知音…… 4-2
受信通知音…… 4-2
受信通知音量…… 4-2
受信通知回数…… 4-2
受信通知方式…… 4-2
初期化…… 4-2

す

スピーカーから音が聞こえない…… 6-2

せ

接続通知…… 4-2

そ

送信開始通知音…… 4-2

つ

通信圏外通知音…… 4-2
通知音量…… 4-3
通話できない…… 6-2

て

ディマー…… 4-3
テンキー…… 1-9
電源が入らない…… 6-2
電波状態表示…… 1-5
電話番号…… 4-5

と

トークグループ…… 3-8, 3-9

の

ノイズキャンセラー…… 4-3

は

バージョン情報…… 1-2
バックライト…… 2-3, 4-3

ひ

ヒューズの交換…… 6-3

ふ

ファームウェア…… 4-2
プレゼンス…… 3-5, 3-6

ほ

ホーン(外部I/O) …… 1-8, 4-5
ポケットビープ…… 3-11, 4-2

ま

マイクゲイン…… 4-3
マイクの使いかた…… 2-3
待受画面での呼出…… 4-3

め

メッセージ…… 3-2
　受信したメッセージを確認する…… 3-5, 3-6
　プレゼンスを送信する…… 3-5, 3-6
　メッセージを作成して送信する…… 3-4
　メッセージを送信する…… 3-2, 3-3

よ

呼び出しモード表示…… 1-5

り

リセット…… 4-2
履歴からの呼出…… 2-6, 2-7
[履歴]キー…… 1-6, 1-7
履歴の消去…… 2-8, 2-9

れ

連続送信…… 2-3

ろ

ロック機能…… 1-10

高品質がテーマです。

A7543-2J
© 2019 Icom Inc.
201909

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32